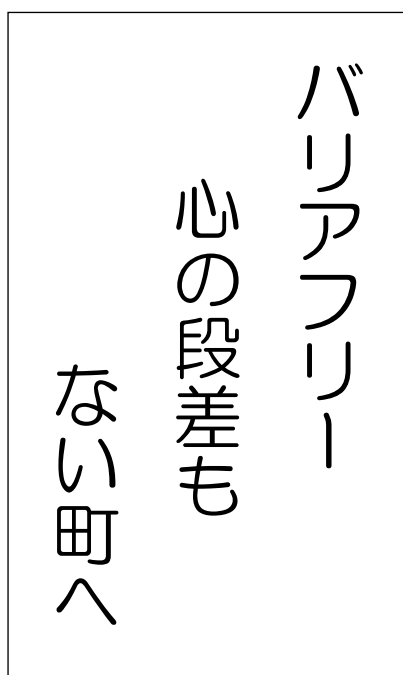


各論

各地区の取り組み

【平成29年度 福祉標語 最優秀賞】



【中学生の部】
渡辺大翔さん（板荷中学校2年）

1 北部地区

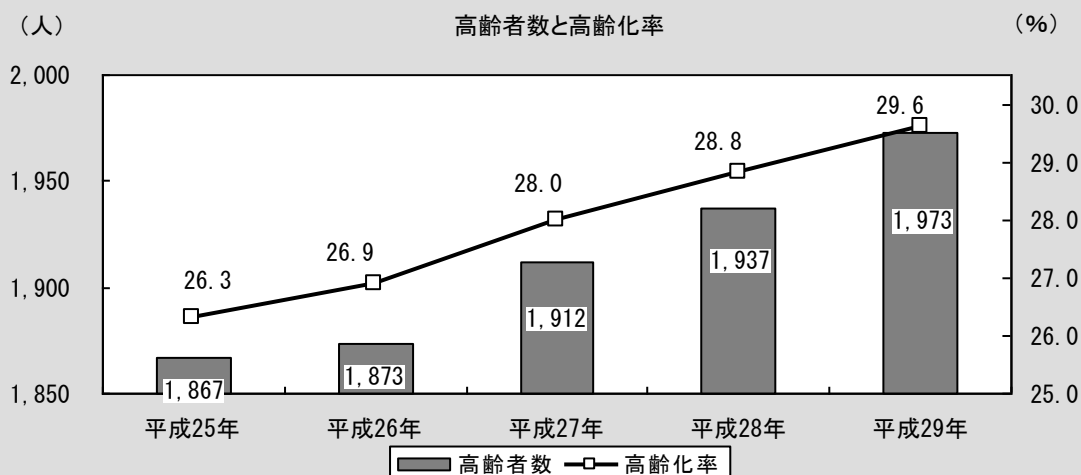
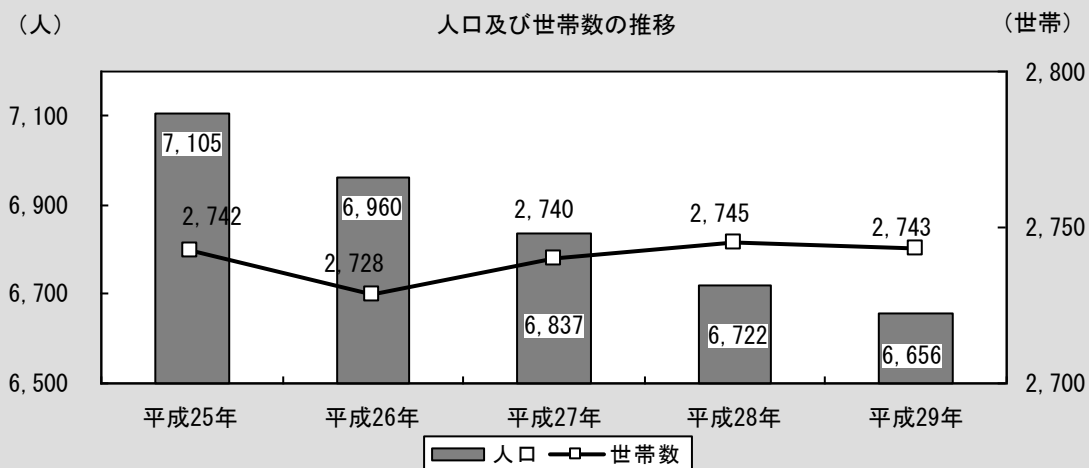
(1) 地区の概況

市街地の北部を構成し、清流黒川と木島堀が地域を潤している。特に黒川では、シーズンになると多くの釣り人で賑わっている。交通の面では、東武日光線北鹿沼駅、国道121号線や県道板荷・玉田線が根幹をなしている。映画等の撮影で使用される小学校や公園等、多くの社会資源を有しており、その積極的な活用によって地域の活性化を図ることも考えられる。



人口	6,656人
世帯数	2,743世帯
1世帯当たりの人数	2.43人
高齢者数（65歳以上）	1,973人
高齢化率	29.6%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 地域活性化事業

- ・ふれあいウォーク等を年2回実施しているが、参加人数が減少傾向にある。
- ・「まちなかぶらぶらマップ」を作成したため、北部地区独自のガイドマップは作成していない。

2) 北小学校交流事業

- ・運動会への招待や年賀状の送付等は、高齢者・児童共に交流を楽しみにしている。
- ・北小マーチングバンドが熱心に活動しており、地域の高齢者に聴いていただける機会があれば喜ばれるのではないかと。

3) 災害時要援護者対応事業

- ・平成27年の水害時には、災害時要援護者台帳を上手く活用できなかった。緊急時に要援護者を把握する難しさがある。台帳に掲載する避難支援者の更新作業を実施しているが、担い手が不足する可能性がある。

4) 子どもの見守り事業

- ・PTAや自治会が中心となり、登下校時の見守り活動を実施している。下校時刻に、通学路に出て見守り活動をしてくれる住民の方もいる。

5) 高齢者生きがいづくり事業

- ・ほっとサロンで歌を取り入れたところ好評だった。運動は難しい方も歌を歌うことはでき、良い刺激となる。ほっとサロン等を開催するには、会場の手配や会計業務等を担う援助者が必須。
- ・老人クラブがない自治会もあるが、愛好会等が複数あり活動している。北部地区として誰もが参加できる生きがいづくりの場があると良い。

6) 買い物支援事業

- ・平成25年度にアンケートを実施したところ、希望者がいなかった。商店は少なくなっているが、スーパーへ手押し車等を利用しながら買い物に出掛けている。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
地域活性化事業	○				
北小学校交流事業	○				
災害時要援護者対応事業		○			
子どもの見守り事業		○			
高齢者生きがいづくり事業		○			
買い物支援事業					○

今後、北部地区で取り組めたら良い事業について

- ①サロンなどの居場所づくり

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①広報活動の充実

(3) 第3期計画の取り組み



地域交流活性化事業



目的・内容	地域内住民が気軽に参加できる地域活動の実施や、社会資源の発掘・開発を行い、積極的に活用することで活気あふれる地域づくりを目指す。 ①地域活性化イベントの開催 ふれあいウォーク等の活性化イベントを実施し、地域内の活性化と住民の交流促進を図る。 ②ガイドマップの作成 生活や暮らしに役立つ地域内のガイドマップを作成し、地域で情報を共有することで地域活性化を図る。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



北小学校交流事業



目的・内容	北小学校児童と地域内高齢者の交流を深めることで、世代間交流を図ると共に児童の敬老精神を育み、福祉に対する心を育てる。 ①世代間交流の実施 地域内の高齢者に対して運動会への招待や年賀状の送付、マーチングバンドの披露、昔遊び等を通じて世代間交流を行うことで、児童の敬老精神を育む。 ②福祉に対する学習への協力 福祉に対する学習に協力することで、児童の福祉や高齢者に対する理解を深めることに貢献する。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

災害対策事業



目的・内容	緊急・災害時における住民の避難支援等に関する事業に取り組む。				
	①情報交換会の実施 要援護者への対応を考慮し、各関係機関と連携して情報交換会を実施し、連携を強化する。 ②研修会等の開催 地域住民に対し災害に対する勉強会や防災訓練等を開催し、災害に対する意識を高め、災害に強い地域づくりを目指す。 ③災害ボランティアの育成 災害ボランティア活動について学び、災害発生時に地域で活躍できる人材を育成する。				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

子どもの見守り支援事業



目的・内容	未来を担う子どもたちの健全育成と、地域内の交通安全・防犯体制の強化を図る。				
	①登下校時の見守り活動の強化 自治会等各種関係団体との連携を強化し、通学路等における見守り活動の強化を図る。 ②あいさつ運動の実施 あいさつ運動を実施することで、地域内の防犯体制の強化を図る。				
対象	地域内の全児童				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

5

高齢者生きがいづくり事業



目的・内容	<p>高齢者が生きがいを持って、気軽に集える場・機会を提供することで、高齢者が生き生きと暮らせる地域づくりを目指す。</p> <p>①各種活動の支援 関係機関と連携し老人クラブやほっとサロン、愛好会活動を支援し、高齢者の健康と生きがいづくりに貢献する。</p> <p>②ボランティアの募集・育成 サロン活動等の運営を支援するボランティアを募集・育成することで、活動の継続と安定を図る。</p> <p>③施設との交流事業 地域内の福祉施設利用者との交流事業を通じて、福祉施設と地域の連携強化も図る。</p>				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

6

ニーズ調査事業



目的・内容	<p>住み慣れた地域で生活していくうえで、買い物などの支援が必要か地域の中で検討していく。</p> <p>①ニーズ調査の実施 地域内の要援護者に対し、買い物などの生活支援に関してどのようなニーズがあるのかニーズ調査を実施する。</p> <p>②生活課題の分析 ニーズ調査の結果をもとに、どのような生活支援が必要か分析し、関係機関と連携し課題解決を目指す。</p>				
	対 象	地域内の要援護者（高齢者・障害者等）			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 11 日	北部地区福祉活動推進協議会定期総会
平成 29 年 7 月 13 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 8 月 2 日	第 2 回策定小委員会

(5) 北部地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	徳田 正雄	坂田山自治会長
副会長	戸澤 光明	北部自治会協議会会長（上材木町自治会長）
副会長	小林 玉江	婦人防火クラブ会長
庶務会計	渡邊 義夫	泉町自治会長
監事	唐紙 正雄	天神町自治会長
監事	柴垣 正男	睦町自治会長
広報委員	半田 光晴	北小学校 P T A 会長
理事	金田 正巳	御成橋町自治会長
理事	丸山 得治	戸張町自治会長
理事	横地 登一	千手町自治会長
理事	茂木 久雄	文化橋町自治会長
理事	神山 勝利	上田町自治会長
理事	福田 宜男	北小学校校長
理事	小暮 卓	北部地区老人クラブ会長
理事	斎藤 陽子	北部地区民生委員児童委員協議会会長
理事	野村 安子	婦人防火クラブ副会長
理事	小川 一男	北部地区民生委員児童委員協議会副会長
理事	大野 加代子	安協第一支部女性部
理事	山本 悦子	安協第二支部女性部

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏 名	団 体 名
会長	徳田 正雄	坂田山自治会長
副会長	戸澤 光明	北部自治会協議会会長（上材木町自治会長）
副会長	小林 玉江	婦人防火クラブ会長
庶務会計	渡邊 義夫	泉町自治会長
監事	唐紙 正雄	天神町自治会長
監事	柴垣 正男	睦町自治会長
広報委員	半田 光晴	北小学校 P T A 会長
理事	福田 宜男	北小学校校長
理事	小暮 卓	北部地区老人クラブ会長
理事	斎藤 陽子	北部地区民生委員児童委員協議会会長
理事	山本 悦子	安協第二支部女性部

2 中央地区

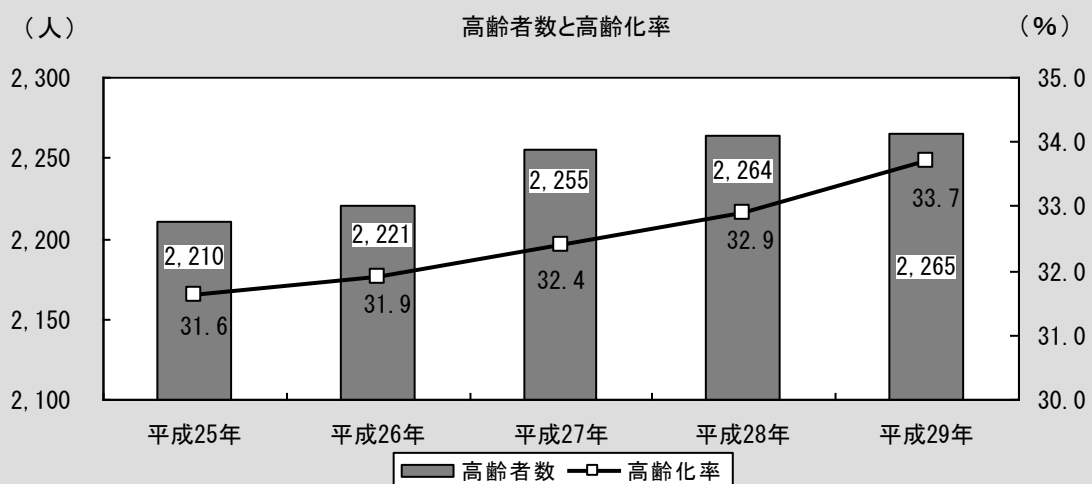
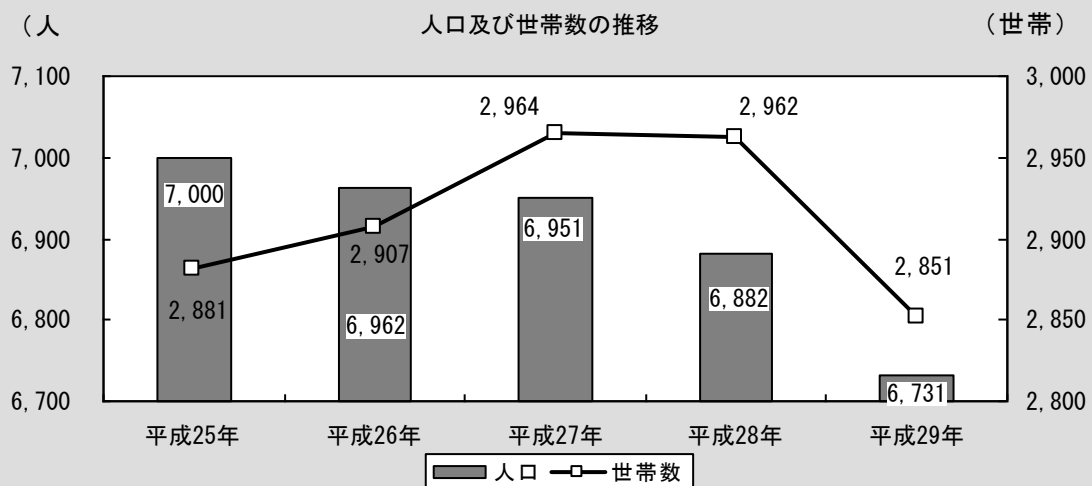
(1) 地区の概況

中央地区は、市街地の西部に位置し、地域内を国道 293 号線や県道鹿沼・日光線が通り、交通の根幹をなしている。また、東武日光線の新鹿沼駅は観光客等の市の玄関口となり、多くの乗降客で賑わっている。人や車の流れがあり賑わっている反面、著しい人口の減少・高齢化率の上昇が続いており、地域活力の低下が懸念されている。



人口	6,731人
世帯数	2,851世帯
1世帯当たりの人数	2.36人
高齢者数(65歳以上)	2,265人
高齢化率	33.7%

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) ほっとサロン事業

- ・第1期計画から2自治会しか増えなかった。
- ・自治会ごとに地域差があり、担い手が不足している。
- ・住んでいる町内でサロンを実施しておらず、別の町内のサロンに参加する難しさがある。
- ・サロンをやる前からできないではなく、まずはお茶会として少人数から始めると良いのではないか。

2) 子どもたちとの世代間交流事業

- ・学校の行事と抱き合わせになっており、他に行事は行っていない。
- ・子供たちが参加しやすいようなコーナーを設けてみるなど工夫はなかった。
- ・子供の頃から地域の催しものなどを知ることは重要。
- ・会場での子供の居場所づくり、来やすいような環境を今後取り入れ、子供たちが地域のイベントに参加しやすいように進めていきたい。

3) 災害時要援護者対応事業

- ・民生委員、シニアライフみまもり隊等が協力して平常時から見守りしている。

4) 買い物支援事業

- ・第2期計画の際にはお店がなかったが、現在はコンビニ等で買い物ができるようになった。
- ・買い物支援が必要な地域は一定の地域に限られ、需要が少ないため、第2期計画で終結とする。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
ほっとサロン事業			○		
子どもたちとの世代間交流事業		○			
災害時要援護者対応事業		○			
買い物支援事業		○			

今後、中央地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり
- ③災害時のためのボランティアの養成

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ③地域の担い手（ボランティア）の発掘

第3期地域福祉活動計画に向けての意見・要望

- ①防災活動の充実
- ②高齢者の居場所づくりや交流事業の推進
- ③各種みまもり活動などの活性化

(3) 第3期計画の取り組み



ほっとサロン事業



目的・内容	高齢者が生きがいを持って、気軽に集える場を目指すと共に、簡単な運動を実施することで、健康増進にも積極的に取り組む。 ① サロン事業の普及拡大 気軽に集えて、おしゃべりやゲーム・運動をして楽しく過ごしてもらうことで、更なるサロンの普及拡大を目指す。 ② 健康増進への取り組み 市や包括支援センター等の出前講座も活用しながら、介護予防や健康運動等にも取り組み、地域の健康増進につなげる。 ③ ボランティアの募集・育成 ボランティアの募集・育成を図ることで、活動の継続と安定を図る。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



子供たちとの世代間交流事業



目的・内容	高齢者と子供たちがふれ合えるよう、世代間交流を積極的に実施し、地域の活性化と生きがいの持てる地域づくりを目指す。 ① 世代間交流の実施 盆踊りやグランドゴルフ、田植え等の子供から高齢者まで参加できるイベントを実施し、世代間の交流を図る。 ② 関係団体との連携 育成会やPTA等と連携しながら、保護者参加の仕組みを構築する。 ③ 各種交流事業 活力と生きがいの持てる地域づくりを目指し、各種世代間交流事業を実施する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

見守り対応事業



目的・内容	<p>地域内の見守りや防災体制の強化を図ることで、緊急・災害時における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援を図る。</p> <p>①地域内ネットワークの充実 組織化された自治会・自主防災会・シニアライフみまもり隊等の活動の下、緊急・災害時に即応できるネットワークの充実を図る。</p> <p>②関係団体との連携強化 関係団体との意見交換会や勉強会等を実施し、情報共有を図ることで連携を強化する。</p> <p>③避難支援員の募集・育成 避難支援員の募集・育成を図ることで、災害発生時における円滑な行動がとれるよう、体制を整える。</p>				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 22 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 8 月 21 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 19 日	第 2 回策定小委員会

(5) 中央地区福祉活動推進協議会役員名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	吉井 和夫	自治会協議会会長（三幸町自治会長）
副会長	宇賀神 赳	自治会協議会副会長（石橋町自治会長）
副会長	川嶋 浩	自治会協議会副会長（花岡町自治会長）
副会長	吉川 洋子	民生委員児童委員協議会会長（日吉台団地民生委員）
会計・庶務	関口 善治	自治会協議会（日吉町自治会長）
監事	鈴木 一夫	自治会協議会監事（蓬萊町自治会長）
監事	大和 恵	自治会協議会監事（仲町自治会長）
理事	黒浜 利夫	自治会協議会会計（寺町自治会長）
理事	大谷 金次	自治会協議会（久保町自治会長）
理事	伊矢野 美一郎	自治会協議会（銀座 1 丁目町自治会長）
理事	鈴木 昇	自治会協議会（銀座 2 丁目町自治会長）
理事	柳田 光彦	自治会協議会（今宮町自治会長）
理事	安生 優	自治会協議会（下横町自治会長）
理事	小林 善一	自治会協議会（麻苧町自治会長）
理事	瓦井 圭一	自治会協議会（下材木町自治会長）
理事	芳田 利雄	自治会協議会（鳥居跡町自治会長）
理事	川上 良夫	自治会協議会（西鹿沼町自治会長）
理事	木澤 茂	自治会協議会（日吉台団地自治会長）
理事	川島 幸一	老人クラブ会長
理事	石塚 久子	婦人防火クラブ会長
理事	荒川 恵津子	シニアライフみまもり隊隊長

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏 名	団 体 名
会長	吉井 和夫	自治会協議会会長（三幸町自治会長）
副会長	宇賀神 赳	自治会協議会副会長（石橋町自治会長）
副会長	川嶋 浩	自治会協議会副会長（花岡町自治会長）
副会長	吉川 洋子	民生委員児童委員協議会会長（日吉台団地民生委員）
会計・庶務	関口 善治	自治会協議会（日吉町自治会長）
監事	鈴木 一夫	自治会協議会監事（蓬萊町自治会長）
監事	大和 恵	自治会協議会監事（仲町自治会長）
理事	黒浜 利夫	自治会協議会会計（寺町自治会長）
理事	川島 幸一	老人クラブ会長
理事	石塚 久子	婦人防火クラブ会長

3 東部地区

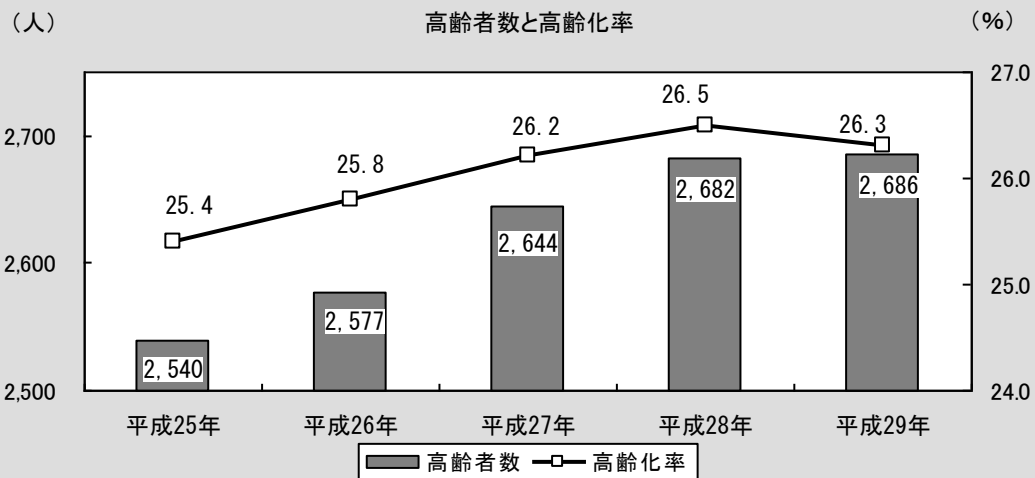
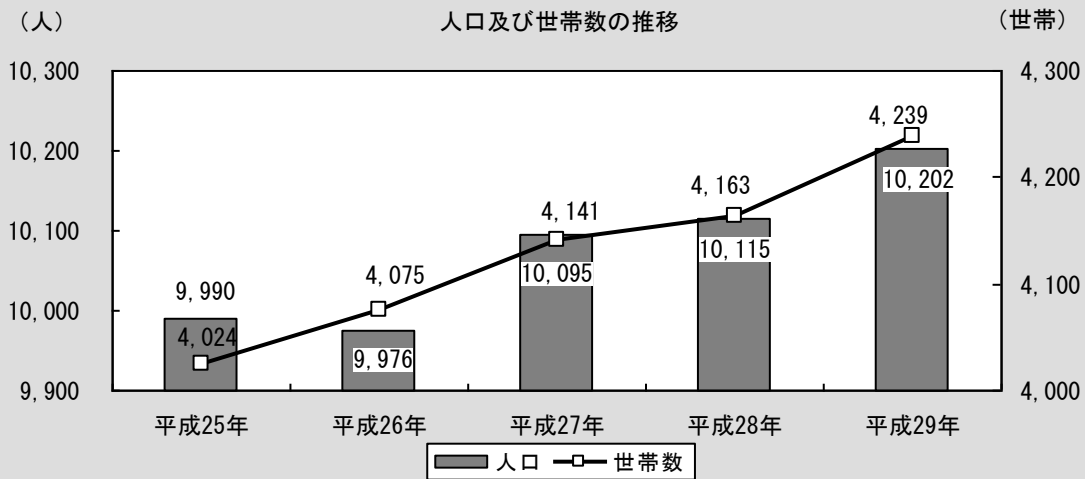
(1) 地区の概況

東部地区は、市街地の東部を構成し、黒川や西武子川が地域を潤している。JR 鹿沼駅や国道 121 号線・293 号線等が、交通の根幹をなしている。市の中心部として栄えてきたが、近年では人口こそ微増傾向にあるものの、郊外への人口流出や空き店舗の増加等による空洞化現象がおき、地域活力の低下が懸念されている。公共交通機関の利便性が高い地域であることを活かし、地域の再生が課題である。



人口	10,202人
世帯数	4,239世帯
1世帯当たりの人数	2.41人
高齢者数（65歳以上）	2,686人
高齢化率	26.3%

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 青少年健全育成事業

- ・ 標語を募集して旗を作成したり、篤行善行児童の表彰をしたりしている。
- ・ 東小中学校の登校時の見守り活動や昇降口でのあいさつ運動を実施している。

2) 環境美化運動

- ・ 町ごとにネットを設置するなど、ゴミの持ち込み対策をしている。
- ・ ゴミステーションは決まりが多く住民レベルでは整備が難しい。
- ・ きれいな町づくり運動として草むしりや花の植え替え、ゴミ拾いを行っている。

3) 地域活動への参加促進事業

- ・ ふれあいウォーキングや街中3地区合同のお楽しみ会を行っている。
- ・ 子どもの参加者が少ないため、育成会との連携も図って行きたい。
- ・ 事業のPRは事業内容ごとに異なるので難しい。

4) 緊急・災害時の助け合いの仕組み作り

- ・ 非常用持ち出し袋を購入し、高齢者に配布した（H28年度）。
- ・ 自治会主催で避難訓練を行っている。
- ・ 水害の際は近所で助け合うことが出来た。
- ・ 近所付合いを充実させて、緊急時、民生委員や自治会に任せきりでなく近所でも助け合えるようにしたい。

5) 高齢者サロン事業

- ・ ほっとホームたまち、ほっとホームうわの、ほっとサロンあさひが活動中である。
- ・ サロンの運営援助員がなかなか見つからず、新たに立ち上げることは難しい。
- ・ 新たな支援者、利用者が増えていないのが現状。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
青少年健全育成事業	○				
環境美化運動	○				
地域活動への参加促進事業		○			
緊急・災害時の助け合いの仕組み作り	○				
高齢者サロン事業	○				

今後、東部地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②生活困窮者の早期発見
- ③災害時のためのボランティアの養成

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ②他地区との情報交換

(3) 第3期計画の取り組み



青少年健全育成
活動事業



目的・内容	未来を担う子どもたちの健全育成と、地域内の防犯体制の強化に取り組む。 ① 関係団体との連携強化 関係団体との連携強化を図ることで、事業の円滑な推進と共に、今後も事業内容の充実と発展を目指す。 ② ボランティアの募集・育成 事業のPRを積極的に行い、ボランティアの募集・育成を図る。 ③ 防犯活動の実施 地域全体で、登下校時の見守り活動の取り組みを強化する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続・拡大	→	→	→	→



環境美化運動



目的・内容	きれいなまちづくりを目指し、環境美化に取り組む。 ① ごみの持ち込み対策 カラス除けネットの設置や注意喚起の貼紙をするなど、各町内でゴミの持ち込み対策を強化する。 ② 清掃奉仕等 清掃作業や花いっぱい運動等、各種奉仕作業を実施し、地域内の環境美化に貢献する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

3

地域活動への参加促進事業



目的・内容	地域活動への参加促進を図ることで、地域の活性化を図り、助け合いのあるまちづくりを目指す。 ①事業内容のPR 各種団体及びその活動内容をPRすることで、参加促進を図る。 ②人材育成 次世代の団体活動を担う人材を発掘・育成するために、育成会やPTA 青年部との連携を強化し、特に、子どもの地域活動への参加促進を図る。 ③ボランティアの募集方法の見直し 募集媒体の変更や学校との連携を図り、少しでも多くのボランティアを確保できるようにする。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

4

緊急・災害時の助け合いの仕組み作り



目的・内容	緊急・災害時における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援等に関する事業に取り組む。 ①避難支援者登録の充実 組織化された自治会・自主防災会の活動の下、緊急・災害時に即応できる体制を整える。 ②要援護者把握と個別プランの充実 災害発生時における要援護者の把握に努め、個別プランの充実を図る。 ③自主防災会の活用 意見交換会や勉強会、避難訓練等を継続して実施し、自主防災会の更なる活用を図ると共に、関係団体との連携を強化する。 ④近隣住民による助け合い 地域での見守り活動を行うなど、コミュニティの促進活動に努める。				
	対 象	地域内の要援護者（高齢者・障がい者等）			
年次計画	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度
	継続	→	→	→	→

高齢者サロン事業



<p>目的・内容</p>	<p>高齢者が生きがいを持って、気軽に集える場を目指す。</p> <p>①高齢者サロンの開設 小規模サロンの開設に向けて、調査・検討する。ニーズに応じた新たなサロンを開設し、気軽に集い、楽しく過ごしてもらおう。</p> <p>②ボランティアの募集 多くのボランティアの参加を得ることで、活動の継続と安定を図る。</p>				
<p>対象</p>	<p>地域内の高齢者</p>				
<p>年次計画</p>	<p>30年度</p>	<p>31年度</p>	<p>32年度</p>	<p>33年度</p>	<p>34年度</p>
	<p>継続</p>	<p>→</p>	<p>→</p>	<p>→</p>	<p>→</p>

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 6 月 5 日	東部地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 7 月 25 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 8 月 29 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 11 月 10 日	第 3 回策定小委員会

(5) 東部地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	山菅 昭八	自治会協議会会長（朝日町自治会長）
副会長	稲尾 勝雄	自治会協議会副会長（府所本町自治会長）
副会長	尾竹 修一	自治会協議会副会長（府所町自治会長）
副会長	安生 輝子	東部地区防火クラブ協議会会長（朝日町）
会計	原 芳子	民生委員児童委員協議会会長（朝日町民生委員児童委員）
庶務	細谷 保生	体協東支部長
監事	石塚 武	中田町自治会長
監事	今井 寿子	府所本町民生委員児童委員
委員	福田 恭久	貝島町自治会長
委員	小野口 幸司	末広町自治会長
委員	佛田 博	下田町 1 丁目自治会長
委員	岩本 治美	下田町 2 丁目自治会長、下田町 2 丁目民生委員児童委員
委員	福富 保通	東末広町自治会長
委員	貝沼 三雄	上野町自治会長
委員	鈴木 忠儀	府中町自治会長
委員	長谷川 順子	子ども会育成会会長
委員	石原 成子	東中 P T A
委員	内藤 康子	東小 P T A
委員	中田 康之	薬物乱用防止指導員
委員	中村 仁	東中学校校長
委員	細田 美智恵	東小学校校長
委員	安野 利江	下田町 1 丁目民生委員児童委員
委員	鈴木 眞知子	貝島町民生委員児童委員
委員	上澤 順子	万町民生委員児童委員
委員	青木 栄子	民生委員児童委員協議会副会長（中田町民生委員児童委員）
委員	野路 忠次郎	下田町 1 丁目民生委員児童委員
委員	根本 順子	府中町民生委員児童委員
委員	平原 美登利	貝島町民生委員児童委員
委員	手塚 紀恵	上野町民生委員児童委員
委員	福田 さと子	上野町民生委員児童委員
委員	小野口 巖	末広町民生委員児童委員
委員	加藤 美子	府所町民生委員児童委員
委員	松田 道夫	民生委員児童委員協議会副会長（貝島町民生委員児童委員）
委員	高橋 春代	上野町民生委員児童委員
委員	高野 敬子	府所町民生委員児童委員
委員	飯野 心みえ	主任児童委員

役 職	氏 名	団 体 名
委員	石塚 百合子	主任児童委員
広報委員	山中 悦子	東末広町民生委員児童委員

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏 名	団 体 名
会長	山菅 昭八	自治会協議会会長（朝日町自治会長）
副会長	稲尾 勝雄	自治会協議会副会長（府所本町自治会長）
副会長	尾竹 修一	自治会協議会副会長（府所町自治会）
副会長	原 芳子	民生委員児童委員協議会会長（朝日町民生委員児童委員）
副会長	安生 輝子	婦人防火クラブ協議会会長（朝日町）
委員	鈴木 忠儀	府中町自治会長
委員	山中 悦子	東末広町民生委員児童委員
委員	加藤 美子	府所町民生委員児童委員
委員	保田 美代子	婦人防火クラブ協議会会長（府所本町）
庶務	細谷 保生	体協東支部

4 菊沢地区

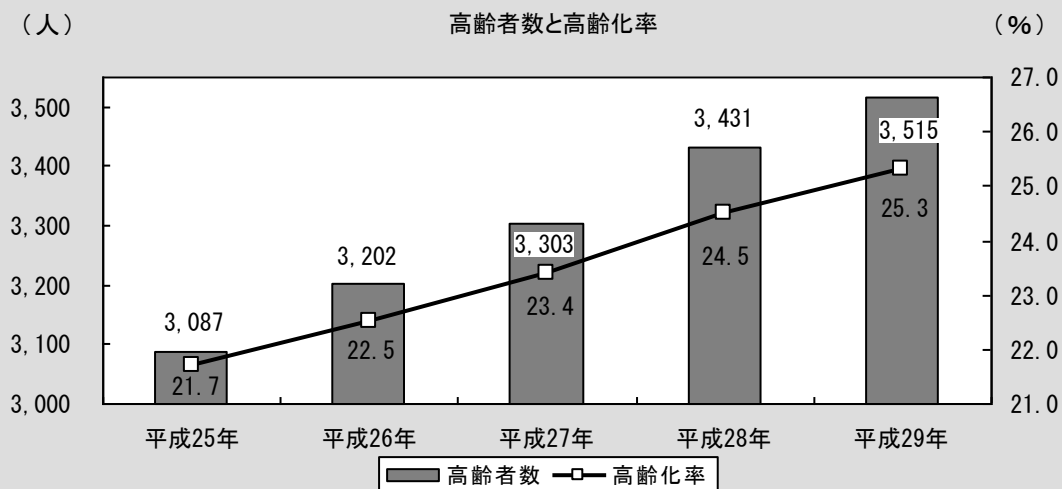
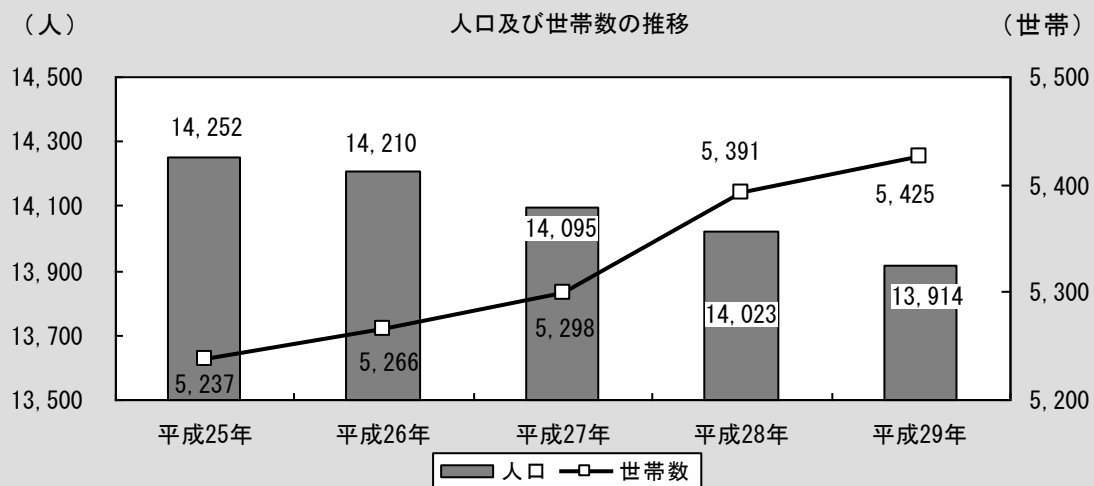
(1) 地区の概況

菊沢地区は、地域内に工業団地を有し、その近くを国道 121 号線と 293 号線、更には鹿沼環状線が通っているなど、鹿沼市の産業・物流の要所となっている。また、菊沢フルーツロード等により、地域振興にも力を注いでいる。地域が抱える問題としては、人口の集中する千渡地区で高齢者数の増加が高く、人口減少傾向と相まって、地域で支え合う仕組み作りが求められている。



人口	13,914人
世帯数	5,425世帯
1世帯当たりの人数	2.56人
高齢者数(65歳以上)	3,515人
高齢化率	25.3%

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 防犯・防災活動事業

- ・防犯の巡回は順調に行われている。
- ・市内の補導では子供たちが屯することなく一定の成果が見られている。
- ・青少年健全育成への意識が高まってきている。

2) 世代間交流事業

- ・各事業でも年々参加者が増加してきている。
- ・各地区でも交流事業に取り組んでいる。

3) 生きがいづくり事業

- ・クッキング教室等を開催している。
- ・各町内で取り組んでいる。
- ・老人クラブができてほしい。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
防犯・防災活動事業	○				
世代間交流事業	○				
生きがいづくり事業	○				

今後、菊沢地区で取り組めたら良い事業について

- ①災害時のためのボランティアの養成

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
②地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会の更なる活性化

(3) 第3期計画の取り組み



防犯・防災活動事業



<p>目的・内容</p>	<p>地域内の見守りや防災・防犯体制の強化を図ることで、緊急・災害時における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援や、未来を担う子どもたちの健全育成等につなげる。</p> <p>①関係団体との連携強化 関係団体との意見交換会や勉強会等を実施し、情報共有を図ることで連携を強化すると共に、緊急・災害時に即応できる体制を整える。</p> <p>②避難支援員の育成等 避難支援員の育成等を図ることで、災害発生時における円滑な行動がとれるよう準備する。</p> <p>③防災意識の向上 防災に関する知識や技能を持った人を育てるため、さまざまな防災に関する体験を実施する。</p> <p>④青少年健全育成支援 未来を担う子どもたちの健全育成を願い、巡回指導や啓発イベント等を実施する。</p>				
<p>対 象</p>	<p>地域内の全住民</p>				
<p>年次計画</p>	<p>30年度 発展・継続</p>	<p>31年度 →</p>	<p>32年度 →</p>	<p>33年度 →</p>	<p>34年度 →</p>

取り組み

2

世代間交流事業



目的・内容	<p>高齢者・障がい者福祉の推進を積極的に図り、生きがいの持てる地域づくりを目指すと共に、世代間交流の実施により、地域の活性化を図る。</p> <p>①世代間交流の実施 「ふれあい祭り」「体育祭」等の子どもから高齢者まで参加できるイベントを実施し、世代間の交流を図る。</p> <p>②施設交流事業 施設の利用者や職員を地域のイベントに招待し、施設との交流を図り、高齢者・障がい者に対する理解を深める。</p>				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

生きがいづくり事業



目的・内容	<p>高齢者等が気軽に集える機会を提供することで、生きがいを持って暮らせる地域づくりを目指す。</p> <p>①生涯学習講座の実施 気軽に楽しく学べる講座を実施することで、いきがいづくり地域のボランティア活動に貢献する。</p> <p>②各種支援事業 活気あふれる地域を目指し、高齢者等の生きがいづくりにつながる事業を展開する。</p>				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 6 月 1 日	地区コミュニティ推進協議会総会
平成 29 年 9 月 28 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 10 月 24 日	地区コミュニティ推進協議会役員会

(5) 菊沢地区コミュニティ推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	峯田 明	菊沢地区自治会協議会長（下武子町）
副会長	平井 好	菊沢地区自治会協議会副会長（見野）
副会長	岩本 雅子	菊沢地区民生委員児童委員協議会長
副会長	篠原 和夫	農政対策協議会菊沢板荷支部代表
会計	人見 功	菊沢地区自治会協議会会計（千渡）
理事	杉田 一郎	菊沢地区自治会協議会監事（武子）
理事	鈴木 道夫	菊沢地区自治会協議会（玉田町）
理事	渡邊 豊	菊沢地区自治会協議会（下遠部）
理事	相羽 義夫	菊沢地区自治会協議会（富岡）
理事	糸井 三男	菊沢地区自治会協議会（武子ニュータウン）
理事	益子 猛	菊沢地区自治会協議会（下武子城山）
理事	渡邊 潔	菊沢地区自治会協議会（古賀志町）
理事	松崎 初一	菊沢地区自治会協議会（高谷）
理事	梅澤 茂夫	菊沢地区自治会協議会（栃窪）
理事	熊倉 功	交通安全協会菊沢支部長
理事	柴田 肇子	交通安全協会菊沢支部女性部長
理事	金子 享二	シルバードライバークラブ菊沢支部長
理事	阿部 好朗	菊沢防犯協会長
理事	岩本 照夫	体育協会菊沢支部長
理事	大島 洋子	菊沢地区婦人防火クラブ連絡協議会長
理事	伊藤 仁規	消防団第 2 分団長
理事	福田 豊作	菊沢地区老人クラブ連絡協議会長
理事	森田 淳子	食生活改善推進委員会菊沢支部長
理事	宇賀神 敏	菊沢フルーツロード実行委員長
理事	小林 紀雄	菊沢きずなプロジェクト実行委員長
監事	菊地 徹	菊沢地区自治会協議会監事（仁神堂町）
監事	梅澤 健一	菊沢地区青少年育成市民会議会長

(6) 策定小委員会名簿

地区コミュニティ推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	峯田 明	菊沢地区自治会協議会長（下武子町）
副会長	平井 好	菊沢地区自治会協議会副会長（見野）
副会長	岩本 雅子	菊沢地区民生委員児童委員協議会長
副会長	篠原 和夫	農政対策協議会菊沢板荷支部代表
会計	人見 功	菊沢地区自治会協議会会計（千渡）
理事	柴田 肇子	交通安全協会菊沢支部女性部長
理事	阿部 好朗	菊沢防犯協議会長
理事	大島 洋子	菊沢地区婦人防火クラブ連絡協議会長
理事	小林 紀雄	菊沢きずなプロジェクト実行委員長
監事	菊地 徹	菊沢地区自治会協議会監事（仁神堂町）

5 東大芦地区

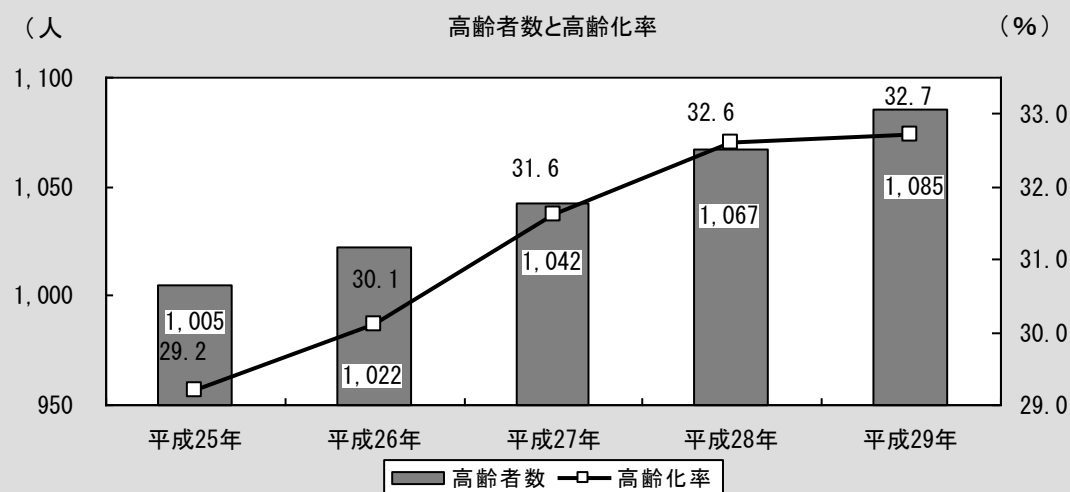
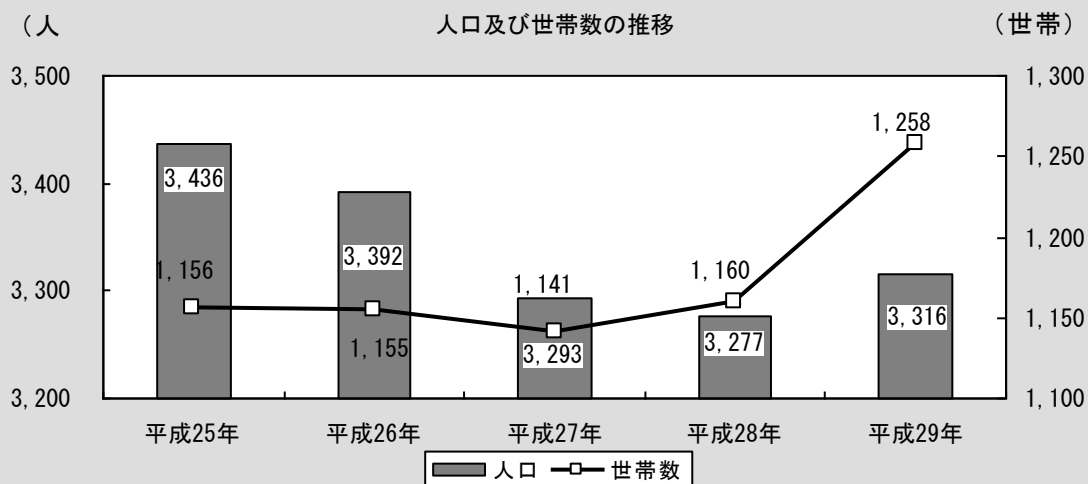
(1) 地区の概況

東大芦地区は、中央部を大芦川が流れる自然豊かな地区で、シーズンには多くの釣り客で賑わっている。出会いの森公園内には、オートキャンプ場や野球場・ゲートボール場等も整備されており、休日には市内外からの多くの利用者で賑わっている。温泉施設や高齢者・障がい者トレーニングセンターも併設されているので、高齢者の生きがいづくりや体力づくりに一役買っている。



人口	3,316人
世帯数	1,258世帯
1世帯当たりの人数	2.64人
高齢者数（65歳以上）	1,085人
高齢化率	32.7%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 団体活動啓発事業

- ・コミュニティ推進協議会を中心に各種団体と協力して支援している。
- ・人材育成を活発に行い、若者をもっと取り込んでいきたい。

2) 環境美化事業

- ・老人クラブや花いっぱい運動等を通して実施し、県道・市道の花壇の整備を積極的に行った。
- ・自治会としても、道路清掃、河川清掃、河川パトロールを実施した。

3) 人権教育事業

- ・市の人権推進課と連携し、人権講演会や人権標語の募集等を行った。
- ・人権事業への取り組みは大切だが、東大芦地区として発信的な取り組みが少なかった。

4) 地域交流事業

- ・各々の団体が取り組む事業（イベント）が広がっている、こどもふれあいウォーク、輪投げ大会、グラウンドゴルフ、ゲートボール等の大会も盛会であった。

5) 見守り事業

- ・みまもり隊員、民生委員児童委員、コミュニティ推進協議会を中心に協力体制を構築し、共同で研修会等を実施。
- ・給食の配布等にも協力しており、見守り隊員活動が地域に浸透してきている。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
団体活動啓発事業		○			
環境美化事業		○			
人権教育事業		○			
地域交流事業		○			
見守り事業		○			

今後、東大芦地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり
- ③電球の交換やフタの開け閉めなど、ちょっとした困りごとへの対応

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会の更なる活性化
- ③広報活動の充実

第3期地域福祉活動計画に向けての意見・要望

- ①第2期地域福祉活動計画での実績評価検証を行い、第3期計画策定に着手していただきたい。

(3) 第3期計画の取り組み



団体活動啓発事業



目的・内容	各種団体の活性化及びコミュニティの活動の推進を図ることにより、活気あふれる地域づくりを目指す。 ①活動内容等の充実・PR 各団体の活動内容の充実を図り、ネットワークを形成する。また、積極的に事業をPRすることで、地域活動への参加を促進する。 ②人材育成 各団体の継続した活動を目指し、若年層等次世代の団体活動を担う人材を発掘・育成する。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



環境美化事業



目的・内容	きれいなまちづくりを目指し、地域内の環境美化活動に取り組む。 ①花いっぱい運動等の実施 花いっぱい運動や清掃作業等、各種奉仕作業を実施し、地域内の環境美化に貢献する。 ②クリーン作戦 自治会・老人クラブ・きれいなまちづくり推進員協議会等と協力し、空き缶拾い等のクリーン作戦を継続して推進する。 ③ボランティアの募集・育成 多くのボランティアの参加を得ることで、活動の継続と安定を図る。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

防犯・防災活動事業



目的・内容	<p>地域内の防犯・防災体制の整備・強化を行うことで、緊急時における要援護者（高齢者・障がい者等）の支援に取り組み、誰もが安心して生活できる地域を目指す。</p> <p>①防犯・防災体制の強化 防災・防犯対策連絡網を活用しながら、要援護者への対応を考慮した台帳の整備や災害時に対応できる体制を整える。また、地域の困りごとに対して迅速な対応をするために日頃から顔の見える関係性を構築するよう努める。</p>				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	新規	発展・継続	→	→	→

取り組み

4

地域交流事業



目的・内容	<p>住民が気軽に参加できる地域活動の実施や、生きがいつくりにつながる事業等を実施することで、活気あふれる地域づくりを目指す。</p> <p>①伝統行事の継承 古き良き地域の行事（祭り囃子等）を後世に伝えていくことで、地域の伝統を継承する。</p> <p>②健康増進・生きがいつくり スポーツ活動等を通じて、地域住民の健康増進とサロン事業等を通じ生きがいつくり役に立てる。</p> <p>③地域交流事業 地域住民が気軽に参加できる事業を実施することで、地域の活性化と多世代間交流の実現を図る。</p>				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

見守り事業



<p>目的・内容</p>	<p>高齢者及び障がい者が住み慣れたまちで、いつまでも安心・安全に暮らせる“まちづくり”を目指す。</p> <p>①見守り体制の充実 民生委員児童委員・みまもり隊・自治会・地域のボランティア等の協力を得て、ひとり暮らし・シルバー世帯をはじめとする地域住民の見守り活動を実施する。</p> <p>②給食サービスの活用 ひとり暮らし高齢者宅への給食サービス配布時に声掛けを行うことで、見守り活動も合わせて実施する。</p> <p>③組織体制の堅持 地域内組織体制の堅持のため、地域において広く人材の発掘育成を行う</p>				
<p>対 象</p>	<p>地域内の全住民</p>				
<p>年次計画</p>	<p>30年度</p>	<p>31年度</p>	<p>32年度</p>	<p>33年度</p>	<p>34年度</p>
	<p>発展・継続</p>	<p>→</p>	<p>→</p>	<p>→</p>	<p>→</p>

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 16 日	地区コミュニティ推進協議会総会
平成 29 年 8 月 3 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 21 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 12 月 21 日	地区コミュニティ推進協議会役員会

(5) 東大芦地区コミュニティ推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会 長	寄川 良一	コミュニティ推進協議会
副会長	福田 照男	自治会協議会
副会長	福田 壽子	婦人防火クラブ
副会長	森田 壮重	体育協会
会 計	金田 勝	深岩自治会
理事	橋本 光男	酒野谷自治会
理事	川田 芳雄	下日向自治会
理事	福田 一夫	上日向自治会
理事	渡辺 一郎	笹原田自治会
理事	渡辺 富雄	下沢自治会
理事	渡辺 武夫	民生委員児童委員協議会
理事	福田 恒介	消防団第 5 分団、こども会育成会
理事	山野井 茂男	防犯協会
理事	福田 孝	交通安全協会
理事	福田 朗	青少年育成市民会議
理事	塩澤 作一	招魂社奉賛会、老人クラブ
理事	川田 辰二	遺族会
理事	岩本 文雄	東大芦地区大芦川取水協
理事	清水 克俊	西小 P T A
理事	大門 勉	酒野谷自治会
理事	富久田 偉邦	下日向自治会

(6) 策定小委員会名簿

地区コミュニティ推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	寄川 良一	コミュニティ推進協議会
副会長	福田 照男	自治会協議会
副会長	福田 壽子	婦人防火クラブ
副会長	森田 壮重	体育協会
理事	橋本 光男	酒野谷自治会
理事	川田 芳雄	下日向自治会
理事	福田 一夫	上日向自治会
理事	金田 勝	深岩自治会
理事	渡辺 一郎	笹原田自治会
理事	渡辺 富雄	下沢自治会
理事	渡辺 武夫	民生委員児童委員協議会会長
理事	橋本 政雄	民生委員児童委員協議会副会長
理事	塩澤 作一	老人クラブ
	橋本 誠	みまもり隊隊長

6 北押原地区

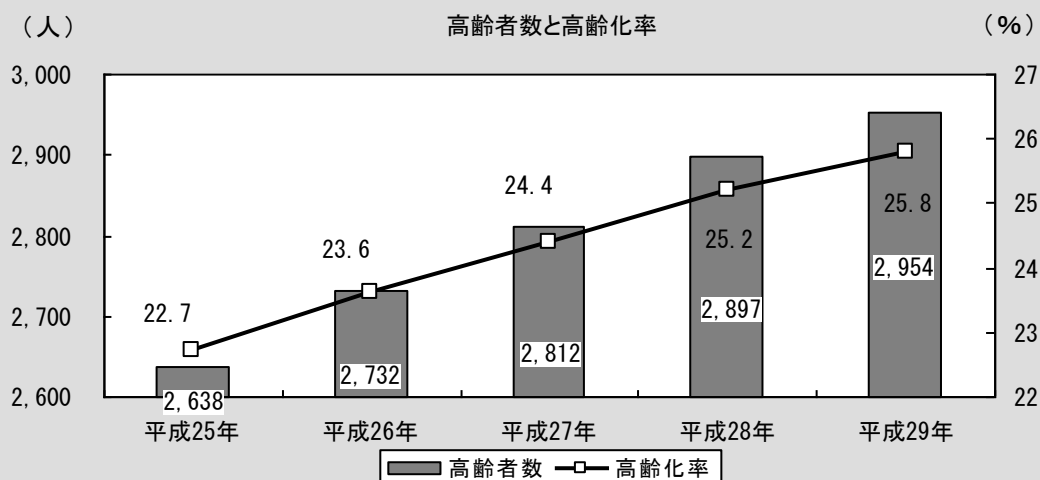
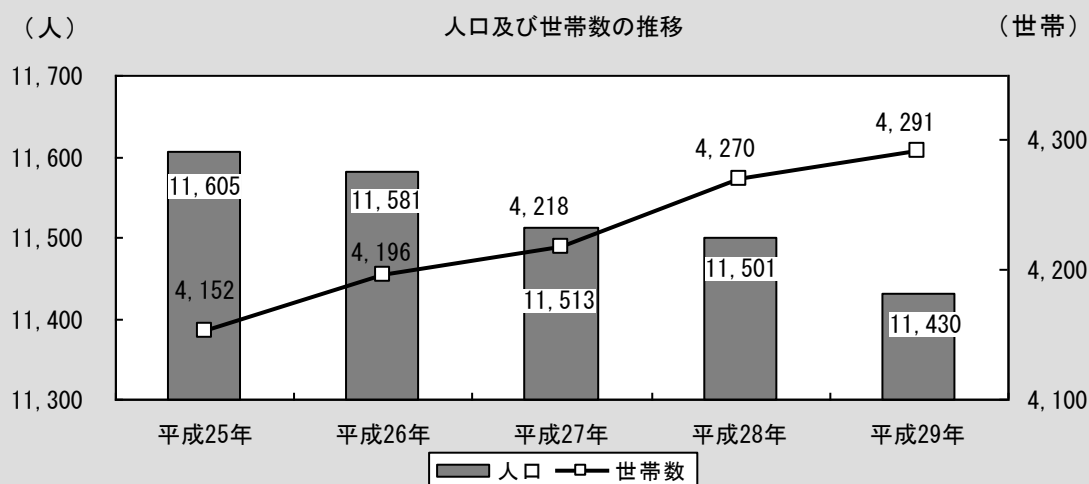
(1) 地区の概況

北押原地区は、国道 293 号線を中心として市街地が形成されており、沿道には日常生活を支える施設等が集積している。また、地域に根付いた歴史や伝統文化が受け継がれている。地区内には東武日光線の縦山駅がある。高齢者に対する支援活動が充実しており、安心して暮らせるまちづくりに貢献している。



人口	11,430人
世帯数	4,291世帯
1世帯当たりの人数	2.66人
高齢者数（65歳以上）	2,954人
高齢化率	25.8%

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 高齢者支援事業

- ・「さといもの会」は、全自治会で実施され数年が経ち、地区により実施状況に差がある。参加者がグループ化しているため新規加入者が定着しないこと、ボランティアの高齢化が今後の検討課題である。

2) ボランティア活動推進事業

- ・ひとり暮らし高齢者の生活上の小さな困りごと(電球の交換など)や地域の困りごとに対応できるボランティアが整備できると良い。
- ・「さといもの会」や子育てサロン「ポニー」のボランティア数は確保できている。

3) 子育て支援事業

- ・子育てサロン「ポニー」は、毎回20組程度の参加がある。子育ての悩みなど保健師が対応し必要に応じ関係機関につないでいる。支えるスタッフも楽しみながら活動できている。第2子、第3子と継続して利用する世帯も増えた。

4) 健康づくり事業

- ・「北押原のびのび体操」は、縦山・日光奈良部の「さといもの会」で取り入れているが、他の地区では他の体操を実施している。
- ・「さといもの会」では、介護予防教室を継続して実施している。

5) 移送サービス事業

- ・公共交通機関など移送サービスに関する調査を行い検討した結果、通院等には予約バスが活用できるようになったため、移送サービスは実施しないこととした。

6) 災害時要援護者対応事業

- ・地域内の福祉施設や関係機関が連携し避難訓練を実施した地区では、住民の災害に対する意識が高まると共に、声を掛け合うなどの交流も増えた。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
高齢者支援事業		○			
ボランティア活動推進事業		○			
子育て支援事業		○			
健康づくり事業		○			
移送サービス事業					○
災害時要援護者対応事業		○			

今後、北押原地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ③広報活動の充実

(3) 第3期計画の取り組み

取り組み
1

高齢者支援事業



目的・内容	高齢者福祉の推進を積極的に図り、自治会等と連携を図りながら、生きがいの持てる地域づくりを目指す。 ①「さといもの会」の継続・発展 全自治会で開催し、多くの高齢者が参加している「さといもの会」の活動を継続・発展させる。市の出前講座等を活用し、活動内容の充実を図る。 ②老人クラブの継続的発展の支援 健康・友愛・奉仕の目標を掲げて心身の健康に資することができるよう活動を支援すると共に、加入促進のため活動のPRを行う。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み
2

ボランティア活動
推進事業



目的・内容	地域内の助け合い体制の強化と、各種事業の円滑な推進を図る。 ①ボランティア活動推進 ボランティア活動に、より多くの地域住民の参加を促すことで、助け合いのある地域づくりを目指す。 ②ボランティアの募集・育成 積極的なPRを行うと共に、地域内の福祉施設や学校など関係機関と連携し、各種事業・団体のボランティアの募集・育成に取り組む。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

子育て支援事業



目的・内容	<p>未来を担う子どもたちの健全育成と子育てにやさしい地域をめざし、子育て支援事業に取り組む。</p> <p>①子育てサロン「ポニー」 気軽に集えて、安心して楽しく過ごしてもらえるサロン活動を継続する。又保健師による相談を継続し課題を早期発見することで、子供の健やかな成長や子育て世帯の孤立化を防ぐ。</p> <p>②情報交換の実施 情報共有を図ることで、子育てサロン「ポニー」の活動支援を行うと共に、地域内の子育て中の保護者の支援につなげる。</p> <p>③ボランティアの募集 多くのボランティアの参加を得ることで、活動の継続と安定を図る。</p>				
	対 象	子育てサロン「ポニー」、地域内の子育て中の保護者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

健康づくり事業



目的・内容	<p>健康につながる運動の実施や、介護予防に関する講座を開催することで、地域内の高齢者の健康増進と介護予防に貢献する。</p> <p>①健康増進 「北押原のびのび体操」など各種体操をサロン活動や各種事業に取り入れ、高齢者の健康増進に役立てる。</p> <p>②介護予防教室等の実施 「さといもの会」で実施している介護予防教室を継続して実施することで、加齢に伴う運動機能の低下を防ぎ、介護予防につなげる。</p>				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

5

災害時要援護者 対応事業



目的・内容	緊急・災害時における要援護者（高齢者・障害者等）の避難支援等に取り組む。				
	①情報交換会の実施 要援護者への対応を考慮し、各関係機関と連携して情報交換会を実施すると共に、連携強化も図る。				
対 象	②体制の整備・強化 連携強化を図ることで、災害時対応の体制の再確認を行う。又、防災訓練等を行うことで、体制の整備・強化を図る。				
	地域内の要援護者（高齢者・障害者等）				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 12 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 8 月 1 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 6 日	第 2 回策定小委員会

(5) 北押原地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	鈴木 章元	自治会協議会監事（縦山町自治会長）
副会長	瓦井 昭子	婦人防火クラブ連絡協議会会長
副会長	兼目 千恵子	民生委員児童委員協議会会長（上殿町民生委員）
副会長	山内 恵美子	民生委員児童委員協議会副会長（縦山町民生委員）
監事	浅見 京子	民生委員児童委員協議会副会長（村井町民生委員）
監事	湯澤 光江	鹿沼シニアライフみまもり隊北押原会会長
委員	関口 正一	自治会協議会副会長（村井町自治会長）
委員	古沢 康夫	上殿町自治会長
委員	谷田部 明	塩山町自治会長
委員	高橋 幸夫	奈佐原町自治会長
委員	小太刀 啓蔵	日光奈良部町自治会長
委員	宇賀神 剛	下奈良部町自治会長
委員	仲田 一夫	自治会協議会監事（上奈良部町自治会長）
委員	赤嶺 謙二	自治会協議会会長（みなみ町自治会長）
委員	関口 一枝	村井町民生委員児童委員
委員	野澤 元造	村井町民生委員児童委員
委員	荒井 榮子	上殿町民生委員児童委員
委員	中山 光郎	上殿町民生委員児童委員
委員	梅澤 克彦	上殿町民生委員児童委員
委員	嶋田 修一	縦山町民生委員児童委員
委員	荻原 良生	縦山町民生委員児童委員
委員	小森 基伊	塩山町民生委員児童委員
委員	木村 恵美子	奈佐原町民生委員児童委員
委員	小野口 幹夫	下奈良部町民生委員児童委員
委員	仲田 久子	上奈良部町民生委員児童委員
委員	福田 美津江	みなみ町民生委員児童委員
委員	高山 恵美子	みなみ町民生委員児童委員
委員	斎藤 万里子	主任児童委員
委員	小田部 久子	主任児童委員
委員	手塚 濱子	食生活改善推進員
委員	鈴木 康子	老人クラブ連絡協議会会長
委員	神山 恭宏	防犯協力会会長
委員	早乙女 卓史	消防団第 3 分団長
委員	高木 善夫	交通安全協会支部長
委員	羽山 潔	鹿沼南高校長
委員	酒井 邦夫	北押原中学校長

役 職	氏 名	団 体 名
委員	阿原 郁恵	北押原小地区育成会会長
委員	国分 さおり	みなみ小育成会会長
委員	田谷 裕	北押原中PTA会長
委員	小田部 正人	北押原小PTA会長
委員	宇賀神 朋	みなみ小PTA会長
委員	栗原 崇人	上殿駐在所
委員	片山 興一	縦山駐在所

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏 名	団 体 名
会長	鈴木 章元	自治会協議会監事（縦山町自治会長）
副会長	瓦井 昭子	婦人防火クラブ連絡協議会会長
副会長	兼目 千恵子	民生委員児童委員協議会会長（上殿町民生委員）
副会長	山内 恵美子	民生委員児童委員協議会副会長（縦山町民生委員）
監事	浅見 京子	民生委員児童委員協議会副会長（村井町民生委員）
監事	湯澤 光江	鹿沼シニアライフみまもり隊北押原会会長
委員	関口 正一	自治会協議会副会長（村井町自治会長）
委員	仲田 一夫	自治会協議会監事（上奈良部町自治会長）
委員	中山 光郎	上殿町民生委員児童委員
委員	木村 恵美子	奈佐原町民生委員児童委員
	野澤 美佐子	婦人防火クラブ会計
	豊田 久枝	婦人防火クラブ会計

7 板荷地区

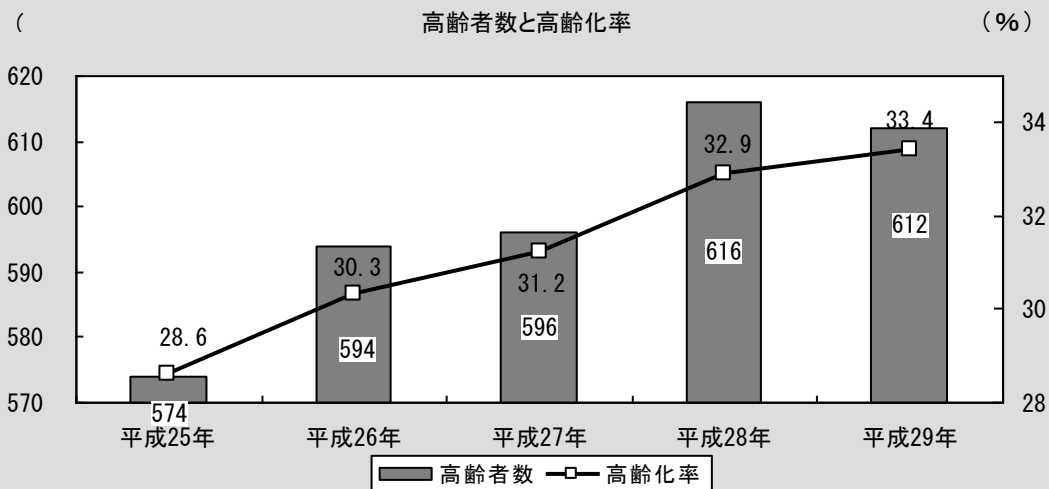
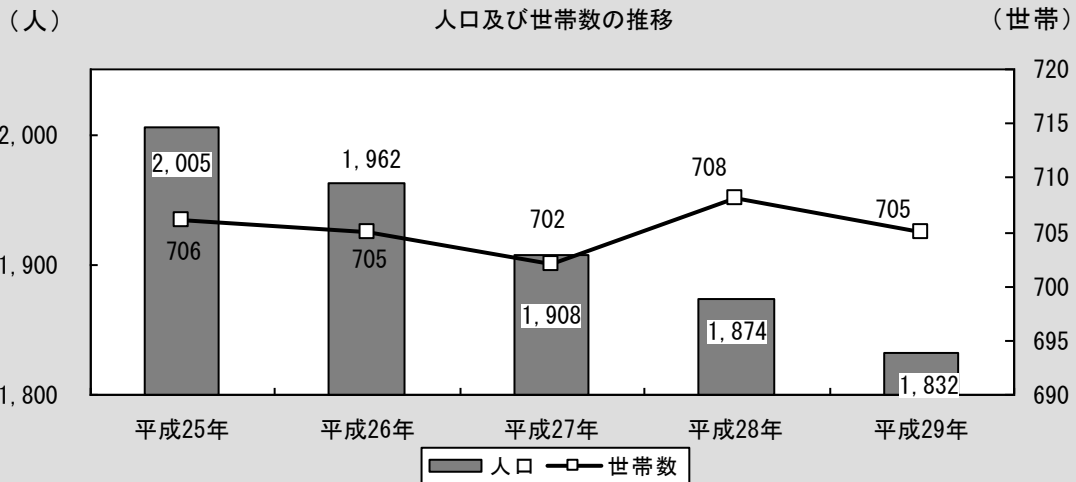
(1) 地区の概況

板荷地区は、自然環境や伝統芸能等の各種資源に恵まれた、中山間地域である。人口の減少と高齢化率の上昇傾向もあり、地域活力の低下が懸念されているが、高齢者支援事業や子育て支援事業等にも取り組み、地域コミュニティの強化に積極的に取り組んでいる。



人口	1,832人
世帯数	705世帯
1世帯当たりの人数	2.60人
高齢者数(65歳以上)	612人
高齢化率	33.4%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 高齢者支援事業

- ・敬老会は高齢者を地域で支える重要な事業であり、継続して実施していく。
- ・参加人数を増やすことを目標としていたが、約3割の参加が現状。送迎についてはバスで対応できている。
- ・サロンは各地区年1回以上実施している。
- ・老人クラブがなくなってしまった地区があり、復活させたい思いがある。

2) 災害等対策事業

- ・安心安全な地域づくりを継続して実施する。
- ・要援護者台帳は毎年確認・更新しており、要援護者支援に役立てている。
- ・消防団等の組織との連携もうまく出来ている。

3) 子育て支援事業

- ・子育てに関する啓発活動、相談等を必要に応じて実施した。
- ・学童保育は、地域全体で子ども達を育成できるように地域として充実させる必要があった。

4) ボランティア活動推進事業

- ・各種事業でボランティア活動に取り組んでいる。
- ・ボランティアの担い手が高齢化しており、新たな担い手の創出が課題である。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
高齢者支援事業		○			
災害等対策事業		○			
子育て支援事業		○			
ボランティア活動推進事業		○			

今後、板荷地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり
- ③買い物のお手伝いやゴミ出しなどの住民同士の家事支援
- ④電球の交換やフタの開け閉めなど、ちょっとした困りごとへの対応
- ⑤草むしりや大掃除など、年数回の住民同士のお手伝い
- ⑥生活困窮者の早期発見
- ⑦災害時のためのボランティアの養成

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①地区福祉活動（コミュニティ）推進協議会の更なる活性化
- ②地域の新たな担い手（ボランティア）の発掘
- ③他地区との情報交換

(3) 第3期計画の取り組み



高齢者支援事業



目的・内容	高齢者福祉の推進を積極的に図り、生きがいの持てる地域づくりを目指す。 ① 敬老会 75歳以上の高齢者を対象とし、長寿を祝すと共に、敬老精神の浸透を図る。 ② 各種高齢者サロン サロン活動等、更なる普及拡大を目指すと共に、サロン活動を通じての見守り活動に取り組む。また、高齢者に見合った運動等を取り入れ、介護予防にも取り組む。 ③ 高齢者生きがいづくり 交流機会の確保やクラブ活動等、高齢者の生きがい作りにつながる事業を実施する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



災害等対策事業



目的・内容	安心安全な地域づくりを目指し、体制・連携の強化を図る。 ① 災害時要援護者対応 安心安全な地域づくりを目指す中で、各地区自治会（自治会協議会）と連携し、要援護者台帳の充実を図り、災害発生時の救援体制の強化を目指す。 ② ネットワークの形成 消防団・婦人防火クラブ等の関係団体との連携強化を図り、要援護者支援を総合的に取り組む。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

子育て支援事業



目的・内容	子育て支援事業に取り組む。 ①啓発事業 子育てに関する各種啓発活動を実施する。 ②各種相談会の実施 いじめや引きこもりだけでなく、子育てに関する啓発活動を行うと共に、必要に応じて対応する。 ③学童保育の支援 学童保育の支援に取組み、地域で子ども達を育てていく。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

ボランティア活動推進事業



目的・内容	地域内のたすけあい体制の強化と、各種事業（新規含む）の円滑な推進を図る。 ①ボランティア活動推進 ボランティア活動に、より多くの地域住民の参加を促すことで、助け合いのある地域を目指す。 ②ボランティア活用 高齢者への訪問活動、招待事業、給食サービスを通じて見守り活動を行い、支援の必要性を把握する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 24 日	板荷地区コミュニティ推進協議会総会
平成 29 年 7 月 19 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 8 月 23 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 10 月 25 日	板荷地区コミュニティ推進協議会役員会

(5) 板荷地区コミュニティ推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	齊藤 秀男	板荷地区コミュニティ推進協議会会長
副会長	富久田 俊雄	板荷地区自治会協議会会長 板荷 5 区自治会長
副会長	福田 秀夫	民生委員児童委員協議会会長 板荷 4・5 区民生委員
幹事	中村 英明	鹿沼市板荷防犯協力会会長 がっこ山部会 会長
幹事	江田 光好	鹿沼市体育協会板荷支部支部長
幹事	西坂 美由紀	板荷小学校 P T A 会長
幹事	加藤 直美	板荷中学校 P T A 会長
幹事	篠崎 雄	鹿沼市消防団第 8 分団分団長
会計	福田 清吾	板荷地区自治会協議会会計 板荷 7 区自治会長 黒川漁業協同組合板荷支部支部長
会計	向田 伸一	民生委員児童委員協議会会計 主任児童委員
監事	木村 孝夫	板荷地区自治会協議会副会長
監事	福田 忠	民生委員児童委員協議会副会長 板荷 8・9 区民生委員
委員	渡辺 博	板荷 1 区自治会長
委員	木村 孝夫	板荷 2 区自治会長
委員	大門 敬一	板荷 3 区自治会長
委員	渡辺 輝久	板荷 4 区自治会長
委員	福田 三郎	板荷 6 区自治会長
委員	福田 勝	板荷 8 区自治会長
委員	山本 和夫	板荷 9 区自治会長
委員	金子 美恵子	板荷 1 区民生委員
委員	舩生 進	板荷 2・3 区民生委員
委員	福田 信	板荷 6・7 区民生委員
委員	大貫 恵子	主任児童委員
委員	阿部 徳一	鹿沼地区交通安全協会板荷支部支部長
委員	渡辺 良男	鹿沼市消防団第 8 分団協力会会長
委員	渡辺 直美	板荷地区婦人防火クラブ連絡協議会会長
委員	阿美 マサ子	鹿沼市立板荷小学校校長
委員	大塚 勝一	鹿沼市立板荷中学校校長
委員	福田 文子	食生活改善推進委員会板荷支部支部長

役 職	氏 名	団 体 名
委員	長野 貞治	鹿沼市猟友会板荷支部支部長
委員	山本 彰夫	板荷地区シルバードライバークラブ会長

(6) 策定小委員会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
委員長	齊藤 秀男	板荷地区コミュニティ推進協議会会長
副委員長	富久田 俊雄	板荷地区自治会協議会会長
副委員長	福田 秀夫	民生委員児童委員協議会会長
委員	中村 英明	鹿沼市板荷防犯協力会会長
委員	阿部 徳一	鹿沼地区交通安全協会板荷支部支部長
委員	篠崎 雄	鹿沼市消防団第8分団分団長
委員	渡辺 直美	板荷地区婦人防火クラブ連絡協議会会長
委員	木村 孝夫	板荷地区自治会協議会副会長
委員	福田 忠	民生委員児童委員協議会副会長
委員	福田 清吾	板荷地区自治会協議会会計
委員	向田 伸一	民生委員児童委員協議会会計
委員	大貫 恵子	民生委員児童委員協議会会計
委員	西坂 美由紀	板荷小学校PTA会長
委員	加藤 直美	板荷中学校PTA会長
委員	亀山 貴則	元気いたがっ子クラブ運営委員会代表
委員	鈴木 利男	板荷地区ふれあい隊代表

8 西大芦地区

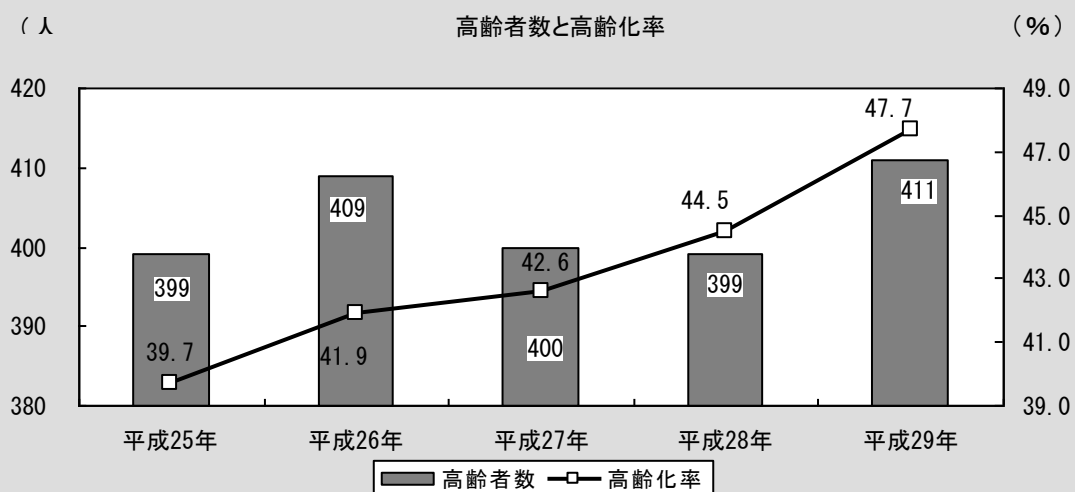
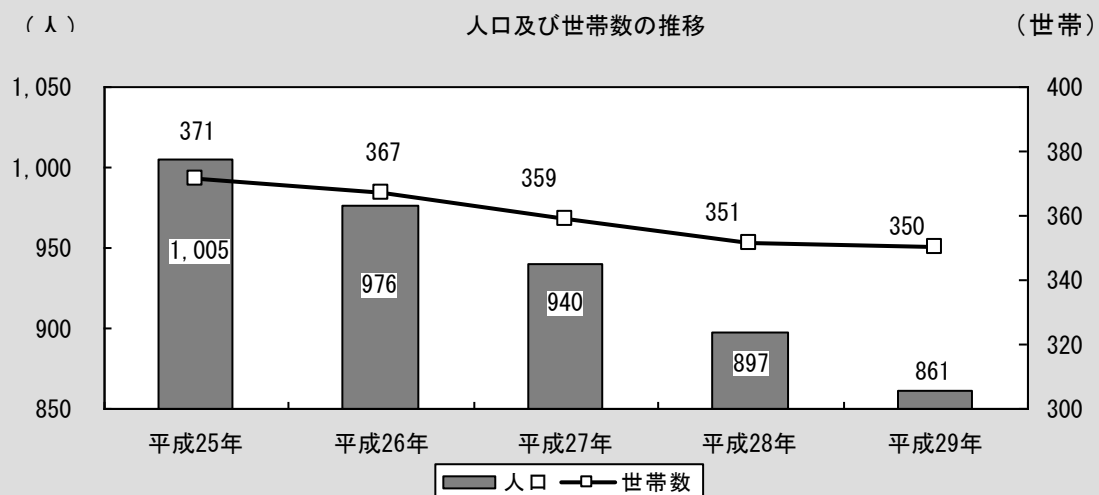
(1) 地区の概況

西大芦地区は、森林資源や清流、前日光県立自然公園等の自然環境、また社寺等の文化的資源に恵まれており、観光客の来訪も多い。人口の減少と高齢化率の著しい上昇が見受けられ、地域活力の低下が懸念されている。特に高齢化率は市内で最も高くなっており、住民の多くが関心を寄せる空き家問題や農地・山林の荒廃問題等の課題と共に、地域で支え合う体制づくりが必要と思われる。



人口	861人
世帯数	350世帯
1世帯当たりの人数	2.46人
高齢者数（65歳以上）	411人
高齢化率	47.7%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 西大芦地区防災対策事業

- ・防災備品の定期点検を毎年実施したり、通報訓練を実施した。
- ・第3期計画においては避難所運営訓練等を検討していく。

2) 交通弱者対策事業

- ・移送サービスを実施し、良かった。助かっている。
- ・移送サービスを知らない人もいるため、利用者が少ない。PR活動をする必要がある。
- ・ボランティアは1日拘束されるため、負担が多い。今後ボランティアの負担軽減を検討していく。

3) 団塊世代の地域参加推進

- ・ゲートボール大会や、グラウンドゴルフ大会を実施して地域の交流をはかり、地域全体に貢献できた。

4) 青少年・子育て支援事業

- ・地区内の各種団体と協力し、地域の子ども達に対して「夏休み子ども料理教室」、「盲導犬福祉体験教室」等を実施した。

5) 健康づくり事業

- ・ヨガ教室、転倒予防教室、リフレッシュ講座を実施した。
- ・ほっとホームが1か所しかなく、遠い方は交通手段がなく通うのが難しい。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
西大芦地区防災対策事業		○			
交通弱者対策事業	○				
団塊世代の地域参加推進		○			
青少年・子育て支援事業		○			
健康づくり事業		○			

今後、西大芦地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり
- ③買い物のお手伝いやゴミ出しなどの住民同士の家事支援
- ④生活困窮者の早期発見

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地域の新たな担い手（ボランティア）の発掘

(3) 第3期計画の取り組み



防災対策事業



目的・内容	<p>地区住民が安全に暮らすことができるよう防災計画を作成し、地区の自主防災組織を立ち上げ、防災リーダーの養成も視野に入れ、災害に強い地域づくり・人づくりを行う。</p> <p>①防災計画の策定 地域の実情に即したわかりやすい防災計画を策定し、災害発生時に円滑な行動がとれるよう準備する。</p> <p>②自主防災組織の運用 防災訓練や避難所運営訓練等の実施や危険個所の点検等、災害発生時に備えるため、自治会・支部・班・団体の活動体制の確認等の機能や役割を明確にして運営体制を整える。</p> <p>③災害時要援護者対応 要援護者の把握に努め、個別プランの充実を図ると共に、避難支援員の確保に努め、救援体制の確実な運用を図る。</p>				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→



移送サービス事業



目的・内容	<p>交通弱者のための移動手段を確保し、住み慣れた地域で健康的に暮らしていくための手助けをする。</p> <p>①移送サービス 日常生活上の不便さを解消すると共に、病院受診等の機会を提供する。</p> <p>②ボランティアの確保 今後の利用者増加に対応するため、事業のPR活動を実施すると共に、運転ボランティアの募集を積極的に行う。</p>				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

3

地域参加推進 事業



目的・内容	地域住民が気軽に参加できる地域活動を実施し、活気あふれる地域づくりを目指すとともに、助け合いのある地域を目指す。 ①地域内住民の交流 各種講座やレクリエーション等を実施し、地域交流を推進することで地域の活性化を図る。 ②地域共生の推進 趣味活動や仲間づくり、おのおのが特技を生かす場の提供等、地域共生につながる事業を展開し、地域住民が生きがいをもって、相互扶助による地域の活性化を図る。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	新規	→	→	→	→

取り組み

4

青少年・子育て 支援事業



目的・内容	未来を担う子どもたちの健全育成を支援することで、活気あふれる地域を目指す。 ①子育て支援 子どもに関する相談や青少年育成市民会議の事業を支援する ②各種育成支援事業 活気あふれる地域を目指し、保健師等による講話や地域の自然環境を活かした親子でふれあえるイベント等を実施した健全育成事業を支援する。 ③関係団体との連携強化 関係団体との連携強化を図ることで、事業の円滑な推進と共に、今後も事業内容の充実と発展を目指す。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

健康づくり事業



<p>目的・内容</p>	<p>健康につながる運動の実施や、介護予防に関する講座を開催することで、地域内の高齢者の健康増進と介護予防に貢献する。</p> <p>①生涯スポーツの推進 健康づくりのために、だれでも気軽に取り組めるレクリエーションを推進する。</p> <p>②健康づくり推進 介護予防を推進するためのストレッチやヨガ等、いつでもどこでもできる運動を推進することで、加齢に伴う運動機能の低下を防ぎ、介護予防につなげる。</p> <p>③各種講座の実施 健康や食に関する講座を実施し、いつまでも元気に暮らせる地域づくりを目指す。</p> <p>④ほっとサロンの開設に向けての調査・検討 ほっとサロンの開設に向けて、調査・検討する。</p>				
<p>対 象</p>	<p>地域内の全住民</p>				
<p>年次計画</p>	<p>30年度 継続・発展</p>	<p>31年度 →</p>	<p>32年度 →</p>	<p>33年度 →</p>	<p>34年度 →</p>

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 21 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 7 月 18 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 8 月 25 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 22 日	地区福祉活動推進協議会全体会議

(5) 西大芦地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	上澤 好文	自治会協議会副会長（西大芦 3 区自治会長）
副会長	上澤 孝重	民生委員児童委員協議会会長（主任児童委員）
副会長	上澤 邦子	婦人会会長
会計	渡邊 勝巳	西大芦 1 区自治会長
監事	酒井 敏昭	西大芦 6 区自治会長
監事	檀淵 孝子	主任児童委員
委員	襲田 利夫	下大久保・上大久保民生委員児童委員
委員	星野 一之	自治会協議会会長（西大芦 2 区自治会長）
委員	福田 文夫	西大芦 4 区自治会長
委員	青木 孝道	西大芦 5 区自治会長
委員	石原 滋人	自治会協議会副会長（西大芦 8 区自治会長）
委員	山岸 栄	草久 5・6 区民生委員児童委員
委員	星野 茂	民生委員児童委員協議会副会長 （上大久保・草久 3 区民生委員児童委員）
委員	福田 光子	草久 4 区民生委員児童委員
委員	石原 真一	草久 7・8 区民生委員児童委員
委員	柏木 敬子	婦人会副会長
委員	福田 國江	婦人防火クラブ会長
委員	福田 隼人	消防団第 7 分団長
委員	酒井 一憲	消防団第 7 副分団長
委員	福田 勝枝	老人クラブ会長
委員	大貫 輝夫	老人クラブ副会長・ゲートボール協会会長
委員	矢野 隆幸	体育協会西大芦支部長
委員	上澤 一夫	交通安全協会西大芦支部長
委員	佐藤 キミ	ゲートボール協会副会長
委員	大貫 和代	ゲートボール協会副会長
委員	青木 年久	グラウンドゴルフ協会会長
委員	大貫 耕一	グラウンドゴルフ協会副会長
委員	石原 逸子	西大芦小 P T A 会長
委員	柴田 幸子	いきいきほっとホーム援助員代表
委員	上澤 健二	子ども会育成会会長
委員	上澤 敏雄	西大芦地区シニアライフみまもり隊隊長

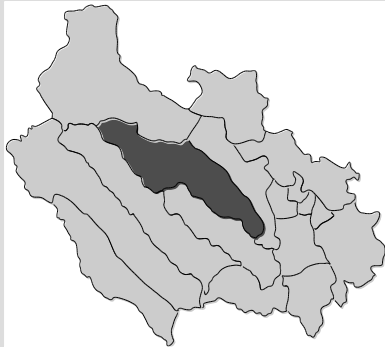
(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役割	氏名	団体名
会長	上澤 好文	自治会協議会副会長（西大芦3区自治会長）
副会長	上澤 孝重	民生委員児童委員協議会会長（主任児童委員）
副会長	上澤 邦子	婦人会会長
会計	渡邊 勝巳	西大芦1区自治会長
監事	酒井 敏昭	西大芦6区自治会長
委員	星野 一之	自治会協議会会長（西大芦2区自治会長）
委員	福田 文夫	西大芦4区自治会長
委員	青木 孝道	西大芦5区自治会長
委員	石原 滋人	自治会協議会副会長（西大芦8区自治会長）
委員	福田 勝枝	老人クラブ会長
委員	柴田 幸子	いきいきほっとホーム援助員代表

9 加蘇地区

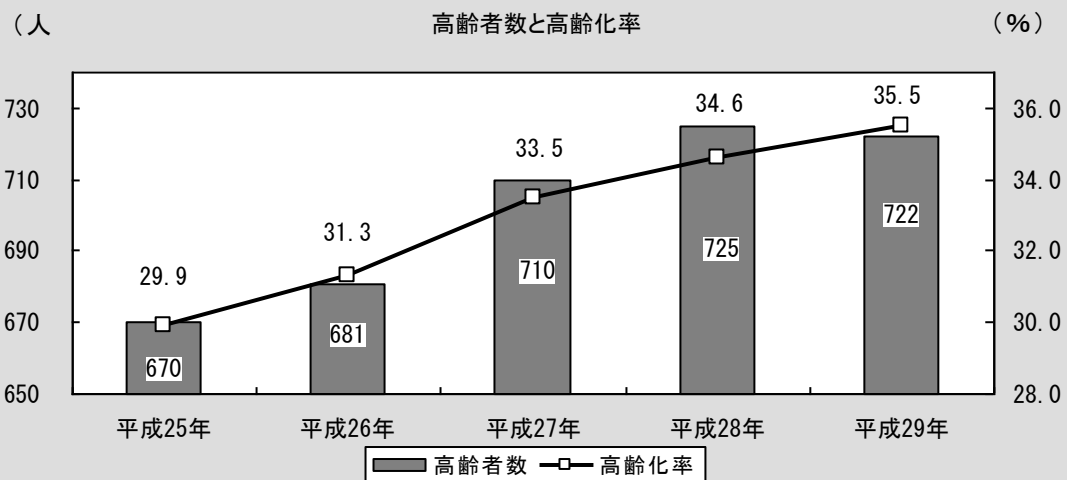
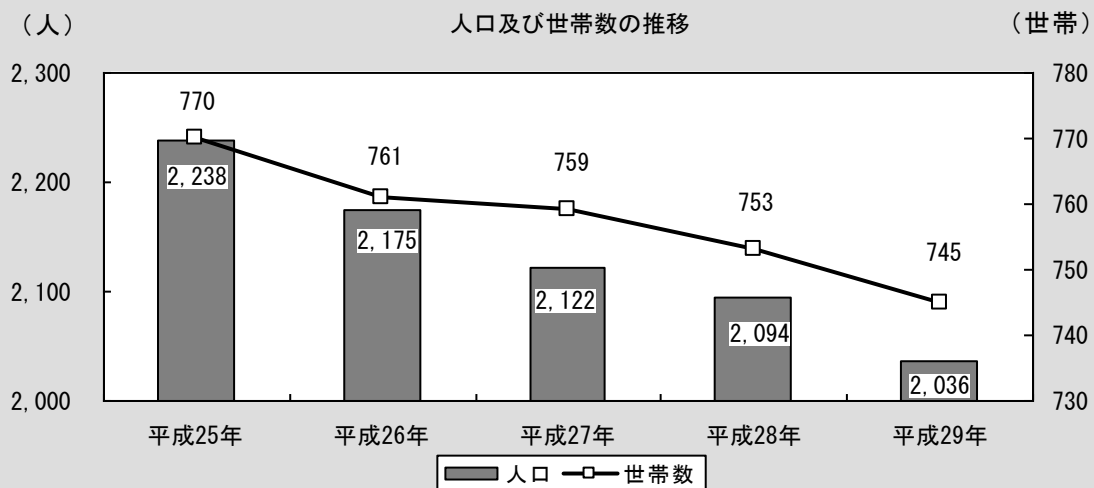
(1) 地区の概況

加蘇地区は、荒井川が地域の中心を流れ、豊富な動植物に恵まれた自然環境豊かな地域である。農産物も多く採れ、地域内の直売所は大勢の利用者で賑わっている。しかし、人口の減少と高齢化率の上昇から、地域活力の低下が懸念されており、今後は高齢者の生きがいつくりにつながるような取り組みを推進して行くことが必要である。



人口	2,036人
世帯数	745世帯
1世帯当たりの人数	2.73人
高齢者数（65歳以上）	722人
高齢化率	35.5%

(平成 29 年 3 月 31 日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) ほっとサロン事業

- ・ボランティア7名で運営しているが、人手が足りない。
- ・男性の利用が少ないので、利用者を増やせるよう頑張りたい。
- ・月1回開催しており、腹話術や中央包括支援センターの出前講座を活用しながら、魅力ある内容になるよう心掛けている
- ・実施する中で、内容のマナー化、ボランティアの募集や育成が課題となっている。

2) 移送サービス事業

- ・手続きが大変との意見や、病院受診しか利用できないと思っている方がいる。
- ・関心を持ってくださっている方がいるため、今後も引き続き情報を発信していく。

3) 災害時要援護者対応事業

- ・平成24年に下久我にて消防本部や消防団第6分団の協力のもと避難訓練を実施。災害時に備え、避難訓練や備蓄等を加蘇地区として広域的に考えていかないといけない。
- ・自治会長や民生委員等一部の人は高齢者の情報を把握しているが、それ以外の人はそういった情報がないので、災害時の対応は難しい。

4) 高齢者生きがいづくり事業

- ・そば処久我にて高齢者招待事業を年1回行っているが、他の事業は行っていないので、今後招待事業の回数を増やしていくのも良いのではないかと。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
ほっとサロン事業	○				
移送サービス事業					○
災害時要援護者対応事業	○				
高齢者生きがいづくり事業	○				

今後、加蘇地区で取り組めたら良い事業について

- ①生活困窮者の早期発見
- ②フードバンク（生活困窮者への食糧支援）への食糧提供などへの協力

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ②地域の担い手（ボランティア）の発掘

(3) 第3期計画の取り組み



ほっとサロン事業



目的・内容	高齢者が生きがいを持って、気軽に集える場を目指すと共に、簡単な運動を実施することで、介護予防にも積極的に取り組む。 ①サロン事業の普及拡大 気軽に集い、おしゃべりやゲーム・運動をして楽しく過ごしてもらうことで、更なるサロンの普及拡大を目指す。 ②健康増進への取り組み 市の出前講座や元気アップクラブ等も活用しながら、介護予防や健康運動等にも取り組み、地域の健康増進につなげる。 ③ボランティアの募集・育成 ボランティアの募集・育成を図ることで、活動の継続と安定を図る。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



移送サービス事業



目的・内容	高齢者や障がい者の移動手段を確保する。 ①移送サービス 日常生活上の不便さを解消すると共に、病院受診や買い物支援の機会を確保する。 ②運転ボランティアの確保 今後の利用者増加に対応するため、事業のPR 活動を実施すると共に、運転ボランティアの募集を積極的に行う。 ③社協ボランティア号活用の検討 イベントやサロン開催時における社協ボランティア号活用を検討する。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

災害時要援護者 対応事業



目的・内容	<p>自主防災会の充実と活用を図ると共に、自治会等の関連団体と連携を図ることで、地域内の防災体制を強化し、緊急・災害時における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援につなげる。</p> <p>①地域内ネットワークの充実 組織化された自治会・自主防災会の活動の下、緊急・災害時に即応できる体制を整える。</p> <p>②関係団体との連携強化 関係団体との意見交換会や避難訓練等を実施し、情報共有を図ることで連携を強化する。また避難マップの作成をし、緊急・災害時に備える。</p> <p>③避難支援員の募集・育成 各種団体と連携を図りながら事業のPR をすることで、避難支援活動を担う人材（ボランティア）を発掘・育成する。</p>				
	対 象	地域内の高齢者・障がい者等			
年次計画	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

高齢者生きがい づくり事業



目的・内容	<p>地域内住民が気軽に参加できる地域活動を実施し、活気あふれる地域づくりを目指す。</p> <p>①地域内住民の交流 高齢者を中心とした地域住民の交流を促進し、地域の活性化を図る。</p> <p>②生きがいづくりの推進 趣味活動や仲間づくり等、生きがいづくりにつながる事業を展開し、参加者が生きがいを持つことで、地域の活性化を図る。</p>				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 23 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 8 月 4 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 29 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 11 月 6 日	地区福祉活動推進協議会全体会

(5) 加蘇地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	湯澤 正	民生委員児童委員協議会会長（上久我第二・石裂民生委員児童委員）
副会長	小林 俊明	自治会協議会会長・安協支部長・下久我自治会長
副会長	津吹 文男	民生委員児童委員協議会副会長（加園上民生委員児童委員）
副会長	神山 明美	婦人防火クラブ会長
会計	飯塚 光起	加蘇中学校 PTA 会長
監事	合谷木 孝雄	加園自治会長（平成 29 年 9 月まで）
監事	鮎田 耕二	加園自治会長（平成 29 年 10 月から）
監事	大貫 秀利	ほっとサロンエリザベス代表
委員	石川 昌一	野尻自治会長・コミュニティ推進協議会会長他
委員	大貫 光雄	加園上自治会長
委員	大貫 一男	上久我第一自治会長
委員	須永 芳夫	上久我第二自治会長
委員	石川 節子	野尻・加園中妻民生委員児童委員
委員	山崎 幸子	加園民生委員児童委員
委員	小林 真砂枝	下久我民生委員児童委員
委員	小林 陽子	上久我第一民生委員・児童委員
委員	鈴木 寿子	主任児童委員
委員	渡邊 康	主任児童委員
委員	大貫 幸男	財産区議会議長
委員	矢口 喜久治	遺族会加蘇支会長
委員	神山 浩保	消防団第 6 分団長
委員	石川 明宏	加蘇中学校長
委員	高橋 勝	加園小学校長
委員	大橋 久美子	久我小学校長
委員	伊佐野 浩士	加園小 P T A 会長
委員	湯澤 祥和	久我小 P T A 会長
委員	大森 芳樹	加園地区子供会育成会連絡協議会長
委員	大貫 和美	久我地区子供会育成会連絡協議会長
委員	大貫 浩	きれいなまちづくり推進員加蘇支部長
委員	鈴木 一郎	加蘇スポーツクラブきらら理事長

(6) 策定小委員会名簿

地区社協での役職	氏名	団体名
会長	湯澤 正	民生委員児童委員協議会会長（上久我第二・石裂民生委員児童委員）
副会長	小林 俊明	自治会協議会会長・安協支部長・下久我自治会長
副会長	津吹 文男	民生委員児童委員協議会副会長（加園上民生委員児童委員）
副会長	神山 明美	婦人防火クラブ会長
委員	石川 節子	野尻・加園中妻民生委員児童委員
委員	山崎 幸子	加園民生委員児童委員
委員	小林 真砂枝	下久我民生委員児童委員
委員	小林 陽子	上久我第一民生委員・児童委員
委員	鈴木 寿子	主任児童委員
委員	渡邊 康	主任児童委員
委員	神山 浩保	消防団第6分団長
委員	大貫 浩	きれいなまちづくり推進員加蘇支部長
委員	鈴木 一郎	加蘇スポーツクラブきらら理事長
会計	飯塚 光起	加蘇中学校PTA会長
監事	大貫 秀利	ほっとサロンエリザベス代表

10 北犬飼地区

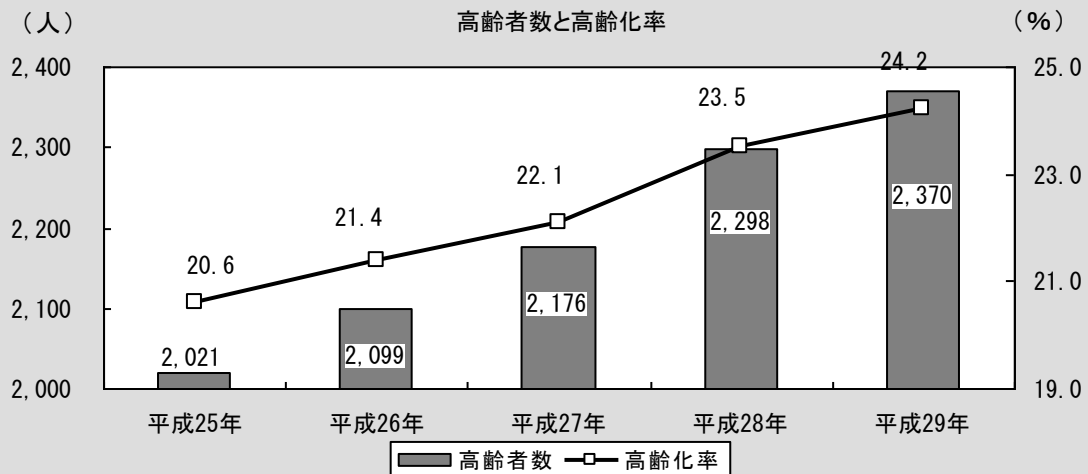
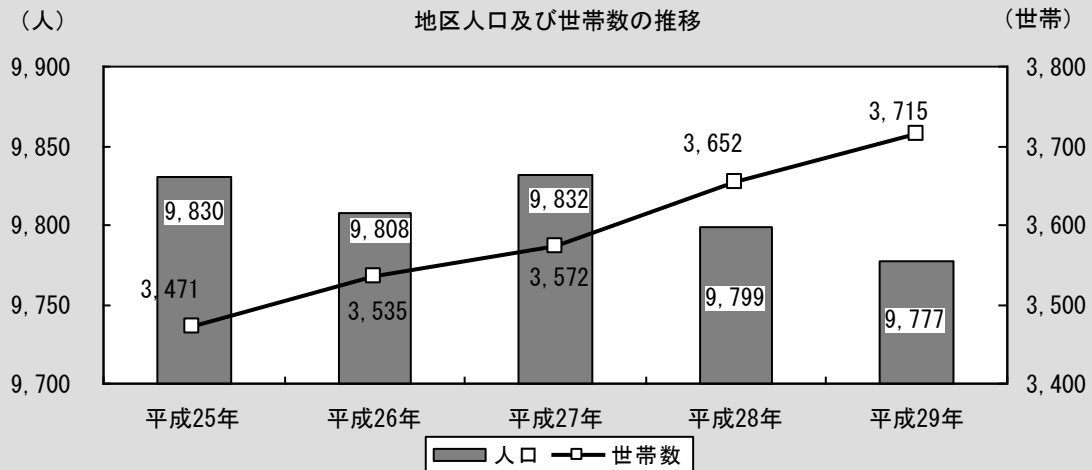
(1) 地区の概況

北犬飼地区は、市の東南部に位置し、宇都宮市・壬生町に接している。地域内に流通センターと工業団地、木工団地を有し、東北自動車道鹿沼インターチェンジがあるなど、鹿沼市の産業・物流の中心になっているが、一方では、ゴミの不法投棄や自動車の排ガス問題に多くの住民が関心を寄せているなど課題を抱えている。産業・物流の中心地でありながら、農村部も多く混在しており、多様性のある地域となっている。



人口	9,777人
世帯数	3,715世帯
1世帯当たりの人数	2.63人
高齢者数（65歳以上）	2,370人
高齢化率	24.2%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) そば打ち教室事業

- ・12月に年1回開催している。毎回15名程度の参加があり、男性参加者が多い。
- ・参加メンバーが違うことから、地域住民の交流の場となっている。

2) ふれあい祭・敬老会

- ・毎年開催しており、各種団体による活動発表、カラオケ、抽選会・バザー等をしている。送迎はおこなっていないが要望がある。しかし、実現するのは現段階では難しい。

3) 地域交流事業

- ・老人クラブ連絡協議会を中心に輪投げ大会を開催し、地域住民の交流を図っている。
- ・市でロコモ体操を実施している。

4) 居場所づくり事業

- ・ほっとホーム津田と上石川のほっとサロン・白桑田元気会で小学生と交流を行っている。
- ・平成28年度より、子育てサロンを始めた。母親たちの息抜きの場にもなっている。
- ・全地区にサロンなどの居場所を設置し、交流を図っている。

5) 健康づくり事業

- ・ラジオ体操を住民主体で毎朝集まり実施している自治会がある。
- ・高齢者サロンでは健康体操をおこなうなど、各自で健康づくりに取り組んでいる。

6) 地域安心・安全づくり事業

- ・交通安全協会や行政と連携して、カーブミラーの清掃やこさぎり（小枝切りや草刈り）等を実施している。
- ・災害時の要援護者台帳については毎年調査し、確認をしている。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
そば打ち教室事業	○				
ふれあい祭・敬老会	○				
地域交流事業	○				
居場所づくり事業	○				
健康づくり事業	○				
地域安心・安全づくり事業	○				

今後、北犬飼地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ③地域の担い手（ボランティア）の発掘
- ④他地区との情報交換

3) 第3期計画の取り組み



ふれあい祭・ 敬老会事業



目的・内容	高齢者を敬愛し、長寿を祝うことと高齢者の生きがいを旨とする。 ①敬老会の実施 高齢者が一堂に会する機会を設けることで、ふれあいの輪を広げ、楽しいひと時を過ごすと共に、地域住民の敬老意識の高揚を図る。 ②ふれあい祭の実施 敬老会の開催に合わせて実施する。イベント内容の更なる充実を図り多くの住民に参加してもらうことで、世代間の交流の促進・地域住民の融和を図る。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→



地域交流事業



目的・内容	地域内住民が気軽に参加できる地域活動を実施し、生きがいをにつなげる事業等を実施することで、活気あふれる地域づくりを目指す。 ①地域交流の推進 各種スポーツやレクリエーション等を実施し、地域交流を推進することで、地域の活性化を図る。 ②生きがいの推進 趣味活動や仲間づくり・おのおのが特技を生かす場の提供等、生きがいをにつなげる事業を展開し、参加者が生きがいをもつことで、地域を活性化させる。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

居場所づくり事業



目的・内容	<p>地域内住民が生きがいを持って、気軽に集える場所を目指すと共に、サロン間の交流や情報交換を図る。</p> <p>①サロンの普及拡大 世代を超えて気軽に集える居場所づくりの場として「子育てサロン」「高齢者サロン」を活用し、おしゃべりやゲーム・運動等をして楽しく過ごせるような更なるサロンの普及拡大を目指す。</p> <p>②サロン間の交流・情報交換 各サロン間・世代間の交流を推進することで、情報交換による課題の共有と、その解決を図る。</p> <p>③子ども食堂の実施に向けての調査・検討 子ども食堂の実施に向けて調査・検討を行う。</p>				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

健康づくり事業



目的・内容	<p>健康につながる運動の実施や、介護予防に関する講座を開催することで、地域内の高齢者の健康増進と介護予報に貢献する。</p> <p>①健康運動の推進 健康づくりのために、だれでも気軽に取り組める体操を実施することで、地域の健康増進につなげる。</p> <p>②各種講座の活用 市の出前講座等を活用し、加齢に伴う運動機能の低下を防ぎ、介護予防につなげる。</p>				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

5

移送サービス事業



目的・内容	移送サービス事業を実施するための調査・検討をする。 ①調査・検討 各種課題（利用希望者・ボランティアの確保等）に関する調査を行い、実施について検討する。				
対象	地域内の高齢者・障がい者等				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	新規	→	→	→	→

取り組み

6

地域安心・安全づくり事業



目的・内容	交通安全や防犯・防災活動等に取り組むことで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。 ①交通安全活動の実施 安全運転の啓発活動を実施すると共に、こさざりやカーブミラーの清掃作業を実施することで、交通事故の防止に貢献する。 ②防犯・防火活動の実施 地域住民の協力を得て、啓発活動やパトロール等の防犯・防火活動を推進する。 ③災害時要援護者対応活動 自主防災会の更なる充実と活用を図り、災害時における要援護者の支援を強化する。				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 28 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 8 月 28 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 27 日	第 2 回策定小委員会

(5) 北犬飼地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	矢口 有良	自治会協議会会長（松原自治会長）
副会長	小川 哲夫	青少年育成市民会議会長
副会長	稲川 紀子	民生委員児童委員協議会会長（茂呂民生委員児童委員）
理事	谷中 俊夫	交通安全協会支部長
理事	柴原 茂之	自治会協議会副会長（上石川自治会長）
理事	深町 英三	自治会協議会副会長（白桑田自治会長）
理事	神長 保則	鹿沼市消防団第 4 分団長
理事	小野口 久子	交通安全協会女性部長
理事	佐藤 公子	体育協会支部長
理事	瓦井 敦子	婦人防火クラブ連絡協議会会長
理事	瓦井 勝二	防犯協会会長
理事	増淵 太吉	老人クラブ連絡協議会長
理事	早乙女 サキ	食生活改善推進委員支部長
理事	小林 充	きれいなまちづくり推進協議会支部長
理事	半田 都	鹿沼市みまもり隊長
理事	高木 ヨシエ	交通安全母の会会長
理事	早乙女 典男	少年指導員代表
理事	吉川 栄一	（一社）鹿沼工業団地総合管理協会理事長
庶務会計	石川 眞由美	上石川 2 区民生委員児童委員
監事	大久保 操	民生委員児童委員協議会副会長（松原民生委員児童委員）
委員	鈴木 一男	上石川 2 区自治会長
委員	吉高神 健司	茂呂自治会長
委員	田崎 宏	深津自治会長
委員	長沼 俊夫	下石川自治会長
委員	齋藤 英雄	池ノ森自治会長
委員	石川 裕正	上石川 1 区民生委員児童委員
委員	宇賀神 敦子	茂呂民生委員児童委員
委員	野澤 由美子	茂呂民生委員児童委員
委員	山口 孝子	白桑田民生委員児童委員
委員	若林 保男	深津民生委員児童委員
委員	瓦井 コト	下石川民生委員児童委員
委員	野中 茂	池ノ森民生委員児童委員
委員	多田 敬子	松原民生委員児童委員
委員	渡邊 恵美	主任児童委員
委員	福田 美枝	主任児童委員

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	矢口 有良	自治会協議会会長（松原自治会長）
副会長	小川 哲夫	青少年育成市民会議会長
副会長	稲川 紀子	民生委員児童委員協議会会長（茂呂民生委員児童委員）
理事	柴原 茂之	自治会協議会副会長（上石川自治会長）
理事	深町 英三	自治会協議会副会長（白桑田自治会長）
理事	半田 都	鹿沼市みまもり隊長
庶務会計	石川 眞由美	上石川2区民生委員児童委員
監事	大久保 操	民生委員児童委員協議会副会長（松原民生委員児童委員）
委員	渡邊 恵美	主任児童委員
委員	福田 美枝	主任児童委員

11 東部台地区

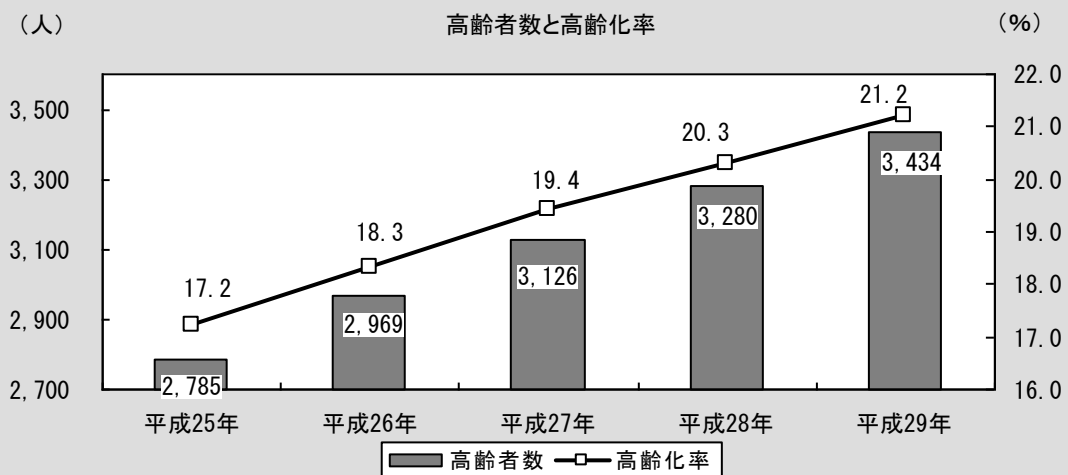
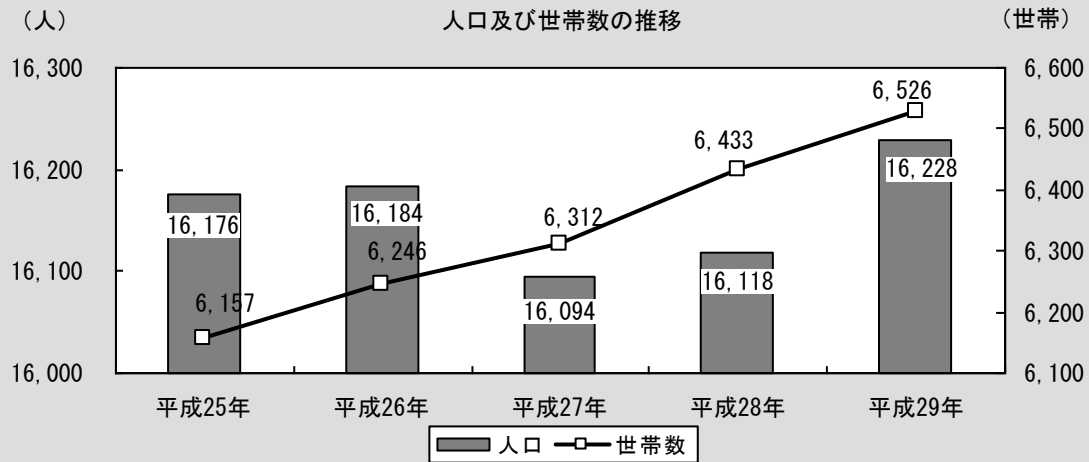
(1) 地区の概況

東部台地区は、市内では数少ない人口増加地域であり、比較的高齢化率も低い。自治会運営も新旧住民が一緒になり、大変活発な活動が行われている。しかし自治会加入率にも低下がみられ、また高齢化率も上昇しつつある。



人口	16,228
世帯数	6,526世帯
1世帯当たりの人数	2.49人
高齢者数(65歳以上)	3,434人
高齢化率	21.2%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 要援護者支援事業

- ・自治会と民生委員・児童委員（以下民生委員と略）との情報共有化が難しい。
- ・自主防災会の活動（避難訓練等）が地区によってばらつきがある。

2) 交流事業

- ・子どもとお年寄りが一緒に参加する世代間交流事業が少ない。

3) 高齢者見守り事業

- ・民生委員とみまもり隊との間で、個人情報保護と情報共有化のバランスが難しい。

4) 子どもの見守り・防犯活動

- ・継続的に防犯活動を続けていくためのボランティアの募集と運営体制。防犯ボランティアの人員不足。

5) 敬老会・サロン事業

- ・会場までの高齢者の移手段。
- ・行事に参加しない高齢者への呼びかけ。
- ・会場となるコミュニティセンターに洋式トイレが少ない。

6) 健康セミナー等の開催

- ・好評である。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
要援護者支援事業		○			
交流事業		○			
高齢者見守り事業		○			
子どもの見守り・防犯活動		○			
敬老会・サロン事業		○			
健康セミナー等の開催		○			

今後、東部台地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②生活困窮者の早期発見

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化

(3) 第3期計画の取り組み

取り組み
1

要援護者支援事業



目的・内容	<p>緊急・災害時における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援等に取り組む。</p> <p>①災害時に向けた体制の整備 自治会や民生委員を中心として、要援護者の把握や台帳の整備など、緊急時に対応できる体制を整える。</p> <p>②避難訓練や講習会の実施 自治会等で避難訓練や講習会等を継続して実施し、平時より緊急時に備える心構えを持つ。</p>				
対象	災害時に特に支援が必要となる方（高齢者・障がい者）、地域内全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み
2

交流事業



目的・内容	<p>地域内の住民の交流に取り組む。</p> <p>①各種交流事業の開催 「ふれあいさくらまつり」「スポーツ大会」等、子どもから高齢者まで参加できるイベントを実施し、世代間の交流をはかる。</p> <p>②子どもとの交流 地区内の小学生や中学生との他世代交流事業を行い、住民どうしの相互理解と親睦をはかる。</p>				
対象	地域内の全住民、高齢者、児童、生徒				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

3

見守り事業



目的・内容	高齢者や子どもたちが安心・安全に暮らせるまちづくりを目指す。 ①高齢者見守り事業 見守り活動の中で、高齢者から受ける各種相談にも応じ、関係機関との連携を密に行う。 ②登下校時の見守り活動の実施 スクールガードボランティアやPTAと連携し、通学路における見守り活動を行う。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

4

敬老会・サロン事業



目的・内容	高齢者の外出機会の確保と、気軽に楽しめる場を提供することにより、地域に介護予防の場を設ける。 ①敬老会・サロンの実施 敬老会やサロンなど、高齢者のための場づくりを継続して行う。 ②参加の呼びかけ 参加者、ボランティアとともに、これまで参加されていない方への参加を呼びかける。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

5

健康講座等の開催



目的・内容	健康や食事、介護予防に関する各種講座を開催することで、健康的な地域づくりを目指す。 ①各種講座・相談会の実施 乳幼児から高齢者までを対象とした健康や介護予防に関する講座などを開催し、みんなが元気に暮らせるまちづくりを目指す。				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 18 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 8 月 28 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 12 日	第 2 回策定小委員会

(5) 東部台地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	池澤 光男	やまゆりの会代表（民生委員 OB 会）
副会長	根津 千三	食生活改善推進員支部長
副会長	千坂 梯二郎	民生委員・児童委員
庶務会計	野澤 裕子	やまゆりの会
監事	備仲 征二	西茂呂南自治会長、きれいなまちづくり推進員支部長、 民生委員・児童委員協議会長
監事	稲川 正藏	民生委員・児童委員
理事	石澤 重雄	自治会協議会代表、緑町 2 丁目自治会長
理事	松嶋 晴彦	民生委員・児童委員代表
理事	山崎 順	遺族会連合会支会長
理事	鈴木 貢	交通安全協会支部長、緑町 3 丁目自治会長
理事	佐藤 忍	少年指導員代表
理事	富久田 茂	青少年育成市民会議会長
理事	松尾 伸広	体育協会支部長
理事	宇賀神 秀之	防犯協会会長
理事	阿部 仁一	老人クラブ協議会会長
理事	下向 一恵	婦人防火クラブ会長
理事	倭文 親子	ボランティアふれあい代表
委員	夏井 洋一	晃望台自治会長
委員	村岡 俊	東町自治会長
委員	川田 功	幸町 1 丁目自治会長
委員	星野 晴男	幸町 2 丁目自治会長
委員	鮎田 順一	緑町 1 丁目自治会長
委員	奈良部 繁雄	西茂呂北自治会長
委員	奈良部 實	栄町 1 丁目自治会長
委員	落合 美津雄	栄町 2 丁目自治会長
委員	永島 正昭	栄町 3 丁目自治会長
委員	大谷 禎夫	民生委員・児童委員
委員	黒崎 通	民生委員・児童委員
委員	黒川 喜美子	民生委員・児童委員
委員	大手 紘次	民生委員・児童委員
委員	小倉 恵子	民生委員・児童委員
委員	橋本 博子	民生委員・児童委員
委員	大森 好美	民生委員・児童委員
委員	橋口 勝代	民生委員・児童委員
委員	峯岸 裕子	民生委員・児童委員
委員	井野 百合子	民生委員・児童委員
委員	池澤 榮子	民生委員・児童委員

役職	氏名	団体名
委員	齋藤 弘子	民生委員・児童委員
委員	相馬 陽子	民生委員・児童委員
委員	蓬田 裕子	民生委員・児童委員
委員	中荒井 弘美	民生委員・児童委員
委員	飯塚 清子	民生委員・児童委員
委員	田崎 照子	民生委員・児童委員
委員	宮本 弘美	主任児童委員
委員	矢口 隆子	主任児童委員
委員	高木 ミツ	やまゆりの会
委員	阿久津 和生	やまゆりの会
委員	天谷 洋子	やまゆりの会
委員	村田 恵子	やまゆりの会
委員	卯月 美津江	やまゆりの会
委員	七久保 治	やまゆりの会
委員	菊池 スミ	やまゆりの会
委員	村上 恵美子	やまゆりの会
委員	奈良部 クニ卫	やまゆりの会
委員	金子 雅男	やまゆりの会

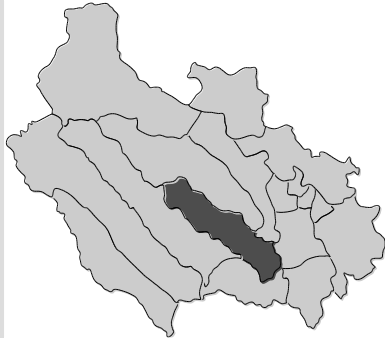
(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役割	氏名	団体名
会長	池澤 光男	やまゆりの会代表
副会長	根津 千ヨ	食生活改善推進委員支部長
副会長	千坂 梯二郎	晃望台民生員児童委員
庶務会計	野澤 裕子	やまゆりの会、シニアライフみまもり隊
理事	石澤 重雄	緑町2丁目自治会長（自治会代表）
理事	倭文 親子	ボランティアふれあい代表
理事	備仲 征二	きれいなまちづくり推進員会支部長 地区民児協会長（西茂呂南民生委員児童委員） 地区自治会協議会副会長（西茂呂南自治会長）
理事	松嶋 晴彦	地区民児協副会長（幸町1丁目民生委員児童委員）
理事	下向 一恵	地区婦人防火クラブ会長
委員	奈良部 實	地区自治会協議会会長（栄町1丁目自治会長）
委員	橋口 勝代	地区民児協副会長（緑町2丁目民生委員児童委員）
委員	七久保 治	やまゆりの会、シニアライフみまもり隊

12 南摩地区

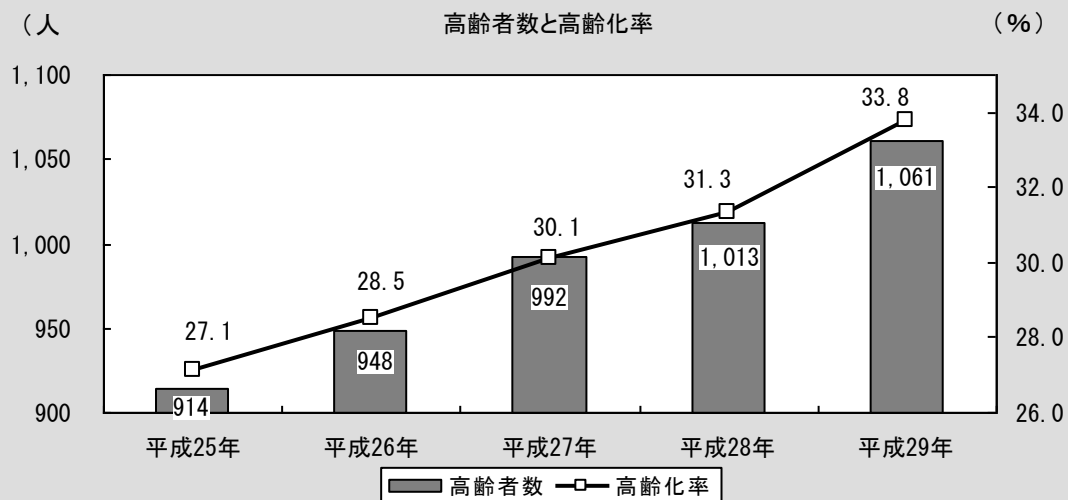
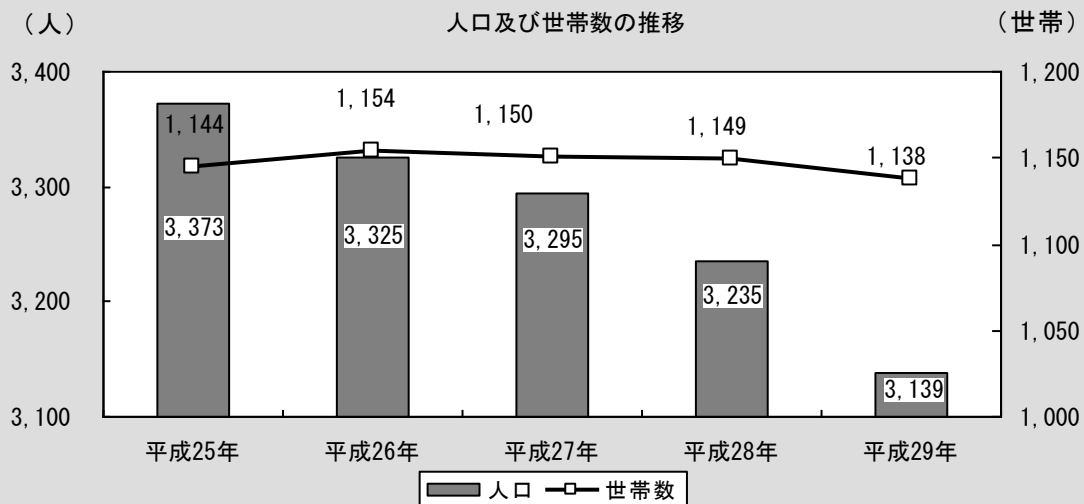
(1) 地区の概況

南摩地区は、地区内を大芦川と南摩川が流れ、豊かな水辺環境を有している。県道鹿沼・足尾線、県道上久我・都賀・栃木線が交通の根幹をなしている。人口の減少と高齢化率の上昇傾向により、地域活力の低下が懸念されているが、各種高齢者対策や世代間交流事業、地域の防犯活動にも積極的に取り組んでいる。



人口	3,139人
世帯数	1,138世帯
1世帯当たりの人数	2.76人
高齢者数(65歳以上)	1,061人
高齢化率	33.8%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 青少年健全育成の実施

- ・3年に一度、中学生を対象に標語を募集しており、平成27年に実施した。

2) 防犯パトロール隊の活動

- ・平成27年5月に日本財団より、南摩地区防犯協会に青色回転等装備車（青パト）が寄贈となり、犯罪防止を抑止することを目的として自主防犯パトロールを週4、5回実施しており、平成28年度は、202日の活動実績がある。国や県、警察署から表彰されている。

3) なんまサロンの開催

- ・南摩地区3ヶ所で、各々年間プログラムを作成し、毎月1回実施している。サロンを実施してから約15年が経過している。上南摩・旭が丘地区では、利用者約20名、ボランティア約15名が参加している。
- ・高齢福祉課の出前講座を利用したり、サロンの内容は地元の人でオカリナや踊りを行うなど工夫して取り組んでいる。
- ・利用者の高齢化が進んでいるため、移動手段の問題やボランティアの成り手、サロンのPRなど周知の方法が課題となっている。

4) 地域活動に参加できる環境づくり

- ・地域活動として「ふれあい農園事業」を実施し、毎回約100名が参加している。「盆踊り」では、中学生にお囃子をお願いするなど、世代間の交流を図っている。
- ・課題はあるものの、みんなが気軽に参加できる仕組みはできている。多世代交流も盛んに行われ、若い世代の参加者も多い。

5) 健康づくり事業

- ・食生活改善推進員と連携し、男の料理教室や子供たちの食育の学びの場として「子供料理教室」を実施している。
- ・健康食としての「そば打ち」を実施したり、健康づくり事業の取り組みの一環として、そば打ちの機材を貸し出している。

6) 高齢者を狙った悪徳商法などの防止事業

- ・県消費者センター等から講師を招き、毎年出前講座を開催し、啓発活動を行っている。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
青少年健全育成の実施		○			
防犯パトロール隊の活動		○			
なんまサロンの開催		○			
地域活動に参加できる環境づくり		○			
健康づくり事業		○			

今後、南摩地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①他地区との情報交換

(3) 第3期計画の取り組み



青少年健全育成
の実施



目的・内容	未来を担う子供たちの健全育成と、安心安全なまちづくりを進める。 ① 青少年健全育成 中学生を対象とした非行防止・防犯標語の募集と表彰を行い、地区内に広報誌で周知することで、非行防止や防犯等に対する意識を高める。 ② 各種育成・支援事業 安心安全なまちづくりを目指し、ふれあい農園事業の実施やその他健全育成・支援事業を展開する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



防犯パトロール隊
の活動

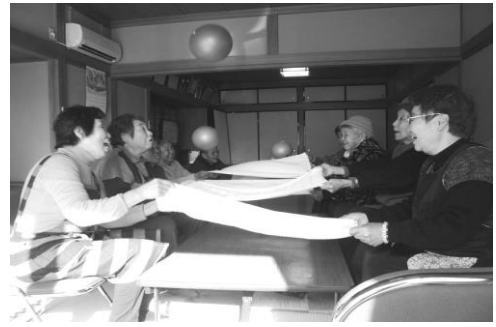


目的・内容	安心安全で住みやすいまちづくりを目指し、地域内の防犯・啓発活動に取り組む。 ① 防犯パトロールの実施 青色回転灯のパトロール車で地域内を巡回し、防犯活動に取り組む。 ② 防犯パトロールのPR等 積極的にPRを行うことで、地域内における事業の理解を深め、更なる活動の推進を目指す。 ③ 各種防犯対策事業 安心安全なまちづくりを目指し、その他防犯対策事業や啓発活動、研修会等を継続して実施する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

なんまサロンの開催



目的・内容	高齢者の生きがいがつくりと、閉じこもりや孤独感の解消を図る ①高齢者サロンの実施 気軽に集えて、おしゃべりやゲーム・運動をして楽しく過ごしてもらえよう、内容の充実を図る。また、高齢者に見合った運動等を取り入れ、介護予防にも取り組む。 ②高齢者生きがいがつくり 交流機会の確保や仲間づくり等、高齢者の生きがいがつくりにつながる事業を実施する。 ③移動手段の検討 より多くの高齢者に参加してもらうために、移動手段の確保について検討する。				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

地域活動に参加できる環境づくり



目的・内容	地域内住民が気軽に参加できる地域活動を実施し、活気あふれる地域づくりを目指す。 ①世代間交流の実施 子供から高齢者まで参加できるイベント「ふれあい農園」等を実施すると共に、「お祭り」「盆踊り」でお囃子を伝承しながら、世代間の交流を図る。 ②人材育成 各種団体と連携を図り、次世代の団体活動を担う人材を発掘・育成する。また、南摩フェスティバルなどの関連事業と連携を図ることで、地域の繋がりを強化していく。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

健康づくり事業



目的・内容	地域ぐるみで健康について考え、いつまでも元気に暮らせる環境を整える。 ① 健康料理教室 食生活改善推進員等と協力し、減塩料理等の作り方を学ぶと共に、地産地消・食育についても考える。 ② 健康づくり事業の実施 そば打ち教室「なんまの蕎麦で元気UP！」や、食育の学びの場として「子供料理教室」等、健康づくりにつながる事業を実施し、地域の健康増進に貢献する。 ③ 体力づくり事業の実施 運動会や球技大会、ゴルフ等のスポーツを推進することで、地域住民の体力づくりに貢献する。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

高齢者を狙った悪徳商法等の防止事業



目的・内容	地域での助け合いの精神を養うことで高齢者を守り、事件・犯罪等に巻き込まれずに、安心して暮らせる環境を作る。 ① 各種セミナー・勉強会の実施 悪徳商法に関するセミナーや勉強会を実施し、安心して暮らせる環境を作る。 ② 啓発活動の実施 悪徳商法から身を守るために、各種啓発活動を実施すると共に、隣近所の協力体制も確立する。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 19 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 9 月 27 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 10 月 26 日	第 2 回策定小委員会

(5) 南摩地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	福田 修久	自治会協議会会長（西沢町 1 区自治会長）
副会長	高野 徹雄	民生委員児童委員協議会会長（西沢町 1 区民生委員児童委員）
委員	佐藤 悦夫	佐目町自治会長
委員	山口 宏弥	油田町自治会長
委員	渡辺 昇	下南摩町自治会長
委員	関口 昇	西沢町 2 区自治会長
委員	駒場 俊雄	上南摩町自治会長
委員	渡邊 雅紀	佐目町民生委員児童委員
委員	阿部 守	旭が丘自治会長
委員	小葉 久仁子	油田町民生委員児童委員
委員	中田 貴美子	下南摩町民生委員児童委員
委員	荻原 唯夫	西沢町 2 区民生委員児童委員
委員	青木 康訓	上南摩町民生委員児童委員
委員	福田 和子	旭が丘民生委員児童委員
委員	齋藤 正士	主任児童委員
委員	赤羽根 良	主任児童委員
委員	青柳 幸雄	南摩シニアライフみまもり隊長
委員	渡邊 昌英	老人クラブ連絡協議会会長
委員	金田 朋子	婦人防火クラブ連絡協議会会長
委員	酒井 ミツエ	交通安全協会女性部長
委員	藤原 郁子	農村生活研究グループ会長
委員	山口 泰子	食生活改善推進員南摩支部長
委員	青木 トキ子	おしゃべりお楽しみ会会長
委員	上崎 ヒデ	たのしい会会長
委員	上田 愛子	なかよし会会長
監事	福田 修久	青少年育成市民会議会長
監事	羽鳥 信也	防犯協会副会長
顧問	赤坂 日出男	鹿沼市議会議員
顧問	鈴木 敏雄	鹿沼市議会議員

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	福田 修久	自治会協議会会長（西沢町 1 区自治会長）
副会長	高野 徹雄	民生委員児童委員協議会会長（西沢町 1 区民生委員児童委員）
委員	渡辺 昇	自治会協議会副会長（下南摩町自治会長）
委員	福田 和子	民生委員児童委員協議会副会長（旭が丘民生委員児童委員）
顧問	赤坂日出男	鹿沼市議会議員
顧問	鈴木 敏雄	鹿沼市議会議員

13 南押原地区

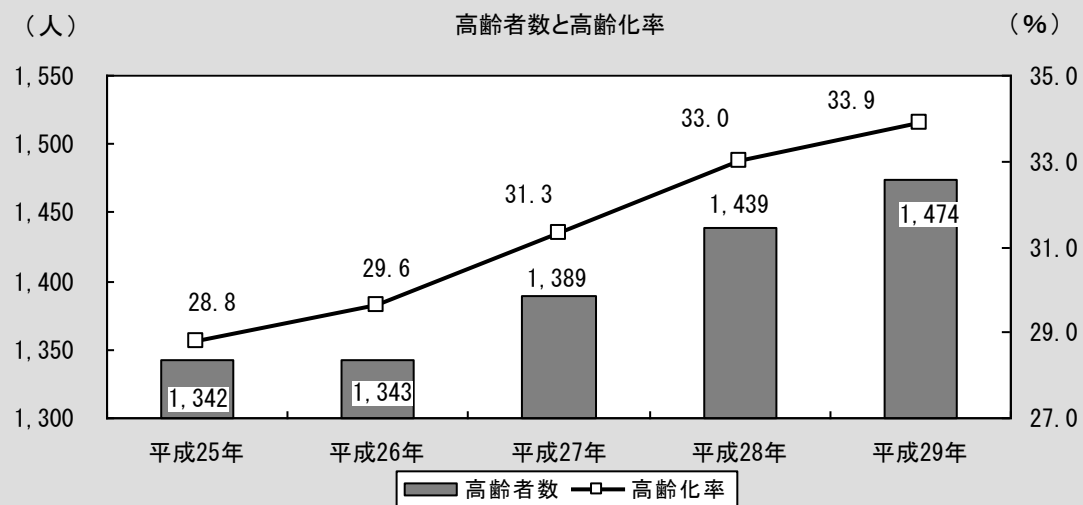
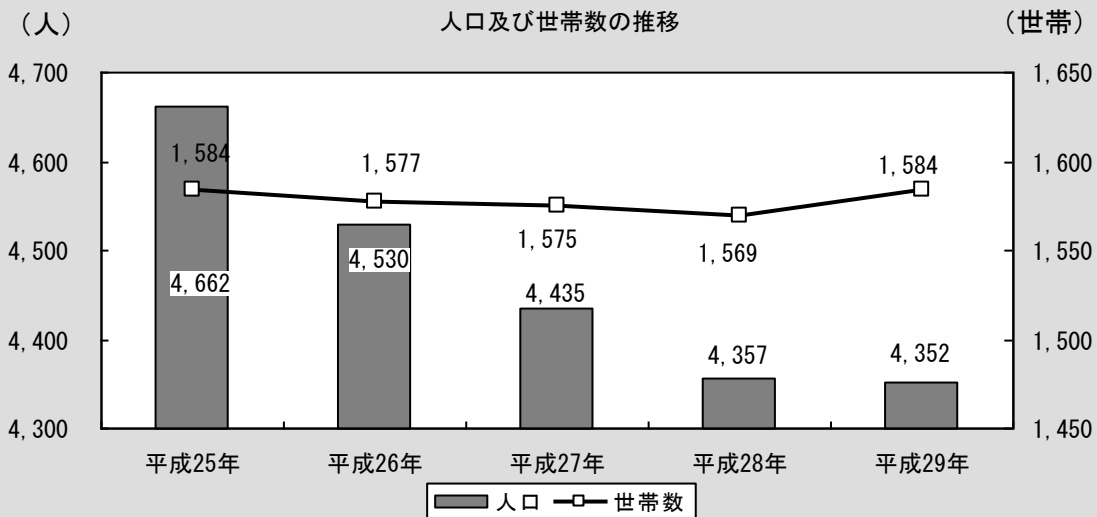
(1) 地区の概況

南押原地区は、市の南部に位置し、壬生町・栃木市と接している。人口は徐々に減少しているものの、住民の活動においては様々な先駆的活動がなされている。



人口	4,352人
世帯数	1,584世帯
1世帯当たりの人数	2.75人
高齢者数(65歳以上)	1,474人
高齢化率	33.9%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 高齢者支援事業「たすかっと」

- ・以前はチラシを配布すると利用件数は増えたが、平成28年度からは利用件数は0件。市の「くらしのお手伝い事業」が施行される際に、たすかっとの利用条件が変更になったことが理由と思われる。

2) セカンドステージ事業

- ・地域活動に参加するメンバーが固定化されている。団塊世代等が参加しやすいプログラムの検討が必要。

3) 移送サービス事業

- ・利用者、ボランティアの数に変動あるものの、年間100日以上の利用実績がある。

4) 子育て支援事業

- ・保健師による身体測定や季節ごとのイベントなどを行っており好評。遊具も整備されている。

5) 自治会・老人クラブ・ボランティアの加入促進事業

- ・自治会加入率は90%と高い水準。老人クラブは2か所で再開、現在8町で活動している。

6) 買い物支援事業

- ・アイデア会議で発案された事業。好評につき自治会の自主事業として継続する。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
高齢者支援事業「たすかっと」			○		
セカンドステージ事業		○			
移送サービス事業	○				
子育て支援事業		○			
自治会・老人クラブボランティアの加入促進事業		○			
買い物支援事業	○				

今後、南押原地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②買い物のお手伝いやゴミ出しなどの住民同士の家事支援

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ③地域の担い手（ボランティア）の発掘

(3) 第3期計画の取り組み



高齢者支援事業
「たすかっと」



目的・内容	住民どうしのたすけあい活動を促進し、高齢者福祉の推進を図り、最後まで安心して暮らせる福祉のまちづくりを目指す。 ①利用条件の変更 「たすかっと」が住民に使いやすいように、利用条件を変更し、利用者増を図る。それに合わせスタッフの増員をはかる。				
対象	地域内の高齢者・高齢者を対象とした活動に興味のある方				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



高齢者サロン活動



目的・内容	高齢者の外出機会の確保と、気軽に楽しめる場を提供することにより、地域に交流と介護予防の場を設ける。 ①高齢者サロンの実施 サロンを定期的で開催し、高齢者に気軽に集える場を提供し、おしゃべりやレクリエーションなどを楽しんでいただく。 ②ボランティアの募集 活動の継続と安定を図るためにも、ボランティア活動への参加の呼びかけを継続する。 ③健康づくりの機会の充実 サロンの他にも体操やレクリエーションが楽しめる機会を設け、住民同士の交流と介護予防の場とする。				
対象	地域内の高齢者・高齢者を対象とした活動に興味のある方				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

3

移送サービス事業



目的・内容	<p>高齢者や障がい者の移動手段を確保する。</p> <p>①移送サービス ボランティアの協力により、病院受診等の機会を提供する。</p> <p>②運転ボランティアの確保 今後の利用者数の増加に対応するため、継続して運転ボランティアの募集を行うと共に、登録したボランティアには活動の機会を増やす。</p>				
対象	高齢者・障がい者、ボランティア活動に関心のある方（特にシニア世代）				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

4

子育て支援事業



目的・内容	<p>子育て世代を支援することで、子どもたちの健全育成と、子育てに優しい地域を目指す。</p> <p>①子育てサロン「みなみなかよしひろば」の継続 各種教室の開催など、子育て支援の活動を継続する。</p>				
対象	地域内の子育て中の親子				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み
5

地域活動への加入促進



目的・内容	<p>地域で活動する方が増えるような取り組みを行う。</p> <p>①各団体への加入促進 自治会・老人クラブ・地域内で活動する各団体への加入を促進する。</p> <p>②PRの充実 特に今後の活躍が期待されるシニア層への呼びかけを強化する。活動に参加しやすいよう、各種活動のPRを充実させる。</p>				
対象	ボランティア活動に関心のある方（特にシニア世代）				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続・発展	→	→	→	→

取り組み
6

買い物支援事業



目的・内容	<p>買い物支援事業は、お買いものツアーとして、アイデア会議の発案により実施されてきた。今後は自治会の自主事業として活動を継続する。</p> <p>①お買いものツアーの開催 自治会事業として、お買いものツアーの開催を継続する。</p>				
対象	地域内の高齢者				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 24 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 6 月 29 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 7 日	第 2 回策定小委員会

(5) 南押原地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	鈴木 節也	磯町自治会
副会長	大塚 美津子	民生委員児童委員
副会長	高橋 充	老人クラブ
会計	梁島 美津子	婦人会
監事	生澤 靖子	婦人防火クラブ
監事	鈴木 鈴子	食生活改善推進委員
委員	善林 俊雄	楡木開運町自治会、青少年育成市民会議
委員	井上 一久	楡木寿町自治会
委員	大塚 彰	楡木日之出町自治会
委員	柴山 正	野沢町自治会
委員	山田 保	亀和田自治会
委員	福島 隆男	北赤塚町自治会
委員	秋澤 久	藤江町自治会
委員	善林 栄	南上野町自治会
委員	谷越 哲男	大和田町自治会
委員	萩原 幸子	民生委員児童委員
委員	井上 淳子	民生委員児童委員
委員	鈴木 茂	民生委員児童委員
委員	若林 政夫	民生委員児童委員
委員	須田 陽子	南押原地区福祉活動推進協議会広報委員、 民生委員児童委員
委員	宇賀神 信夫	民生委員児童委員
委員	善林 淳子	民生委員児童委員
委員	坂口 享子	民生委員児童委員
委員	小室 朱実	民生委員児童委員
委員	大岡 信子	民生委員児童委員
委員	鹿妻 洋子	町内推進委員
委員	宇賀神 久美子	安協女性部
委員	岡部 久子	ボランティア「みなみ」
委員	藤江 剛寛	消防団
委員	中山 健治	シニアライフみまもり隊
委員	中山 栄子	子育てサロン「みなみなかよしひろば」
委員	石川 侑三	老人クラブ
委員	山井 武夫	老人クラブ
委員	鈴木 節也	老人クラブ
委員	大橋 三郎	老人クラブ
委員	石塚 和夫	老人クラブ

役職	氏名	団体名
委員	豊田 幸男	少年指導員
委員	橋本 和久	少年指導員
委員	岡部 裕亮	少年指導員
委員	渡邊 恵美子	南押原中学校校長
委員	湯澤 晴美	南押原小学校校長
委員	高杉 繁行	楡木小学校校長
委員	坂井 忍	みなみ小学校校長
委員	大岡 由香	南押原中 PTA 代表
委員	秋澤 一彦	楡木小 PTA 会長
委員	齋藤 佳代子	南押原小 PTA 会長
委員	善林 雄二	みなみ小 PTA 会長
委員	館野 裕昭	体育協会南押原支部長
委員	増淵 翔平	南押原駐在官
委員	鷲尾 正雄	交通安全協会支部長

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	鈴木 節也	自治会連絡協議会会長（磯町自治会長）
副会長	大塚 美津子	民生委員児童委員協議会会長（楡木 3 区民生委員児童委員）
副会長	高橋 充	老人クラブ連絡協議会会長
会計	梁島 美津子	婦人会会長
監事	生澤 靖子	婦人防火クラブ会長
監事	鈴木 鈴子	食生活改善推進員
幹事	宇賀神 久美子	交通安全協会女性部
幹事	岡部 久子	ボランティア「みなみ」副代表
幹事	藤江 剛寛	消防団第 10 団団長
幹事	善林 俊雄	自治会連絡協議会副会長（楡木開運町自治会長）・ 青少年育成市民会議会長
幹事	鹿妻 洋子	町内推進委員
幹事	大岡 由香	南押原中 PTA 代表
幹事	中山 健治	シニアライフ見守り隊隊長
幹事	中山 栄子	子育てサロン「みなみなかよしひろば」代表
委員	須田 陽子	南押原地区福祉活動推進協議会広報委員
委員	善林 栄	自治会連絡協議会会計（南上野町自治会長）
委員	鈴木 茂	民生委員児童委員協議会副会長 （磯町民生委員児童委員）
委員	荻原 幸子	民生委員児童委員協議会会計 （楡木 1 区民生委員児童委員）
委員	小室 朱美	主任児童委員
委員	大岡 信子	主任児童委員

14 栗野地区

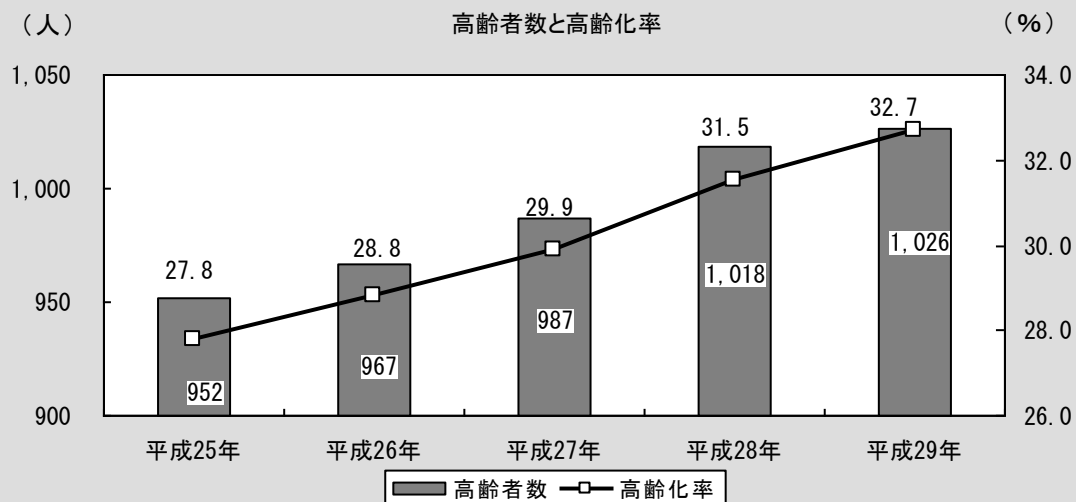
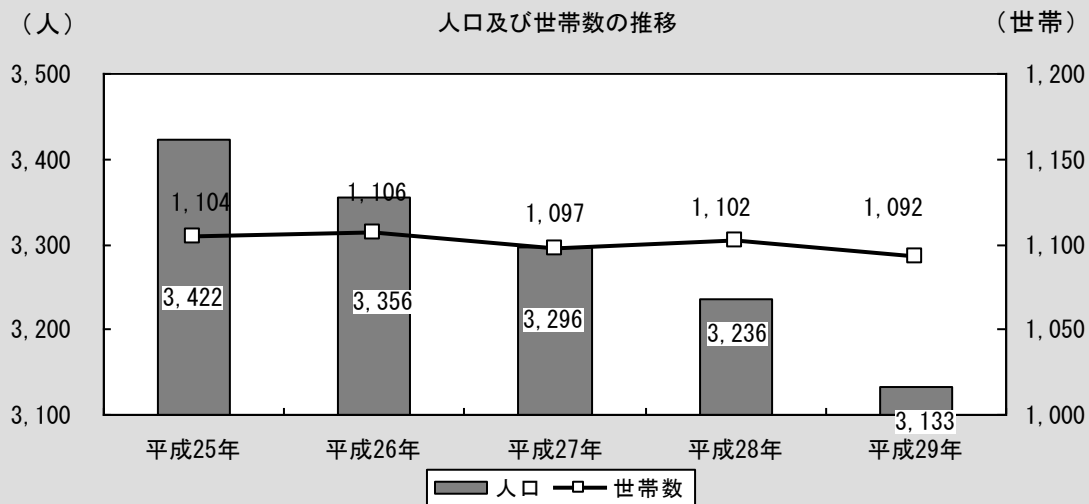
(1) 地区の概況

栗野地区は、市の西部に位置し、栗野川・思川が地域を潤し、主要地方道鹿沼・足尾線及び草久・栗野線が交通の根幹をなすと共に、その沿線に市街地が集積しており、生活や文化の中心をなしている。横根山を含む西部地域は、前日光県立公園に指定されているなど、豊かな自然を残している。



人口	3,133人
世帯数	1,092世帯
1世帯当たりの人数	2.87人
高齢者数（65歳以上）	1,026人
高齢化率	32.7%

(平成29年3月31日)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 敬老会事業

- ・地域の高齢者にとっても重要な事業であり継続して実施していく。
- ・移動については自治会等の協力を得ながら今後も移動手段の確保が必要である。

2) 高齢者サロン事業

- ・より多くの高齢者に参加してもらえるよう今後も継続して実施していく。
- ・移動については地域で送迎できる体制が必要である。

3) 高齢者見守り支援事業

- ・見守りや給食サービスは順調に実施できている。
- ・年越しソバの配布事業は提供先の関係で今年度以降の詳細が決まっていないが活動は継続していきたい。

4) 地域の防犯・防災事業

- ・広域での防災組織の整備には時間が掛かっている。重要な事業であり今後も継続。

5) 移送サービス事業

- ・運転ボランティアは増加しているが固定化している。
- ・事業の周知を図りながら継続して実施していく。

6) ふれあい福祉まつり事業

- ・4地区合同で実施している。イベント内容についても地域に役立つものを検討していきたい。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
敬老会事業	○				
高齢者サロン事業	○				
高齢者見守り支援事業	○				
地域の防犯・防災事業	○				
移送サービス事業	○				
ふれあい福祉まつり事業	○				

今後、栗野地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり
- ③生活困窮者の早期発見
- ④フードバンク（生活困窮者への食糧支援）への食料提供などへの協力
- ⑤災害時のためのボランティアの養成

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化
- ③地域の担い手（ボランティア）の発掘
- ④自治会・地域包括との連携

(3) 第3期計画の取り組み



敬老会事業



目的・内容	高齢者を敬愛し長寿を祝うことと、高齢者の生きがいづくりを目指す。 ①敬老会の実施 長年にわたり、社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うと共に、地域住民の敬老意識の高揚を図る。 ②移動手段の確保 これまでと同様に、自治会の協力を得ながら、社協ボランティア号等の活用や新たな移動手段を検討する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



高齢者サロン事業



目的・内容	高齢者が生きがいを持って、気軽に集える場を目指す。 ①高齢者サロンの実施 気軽に集えて、おしゃべりやゲーム・運動をして楽しく過ごしていただく。さらに、活動内容の充実を図り、従来のサロン活動を継続しつつ気軽に集まれるミニサロンの充実を図る。 ②移動手段の確保 自治会及び地域のボランティアの協力を得ながら、社協ボランティア号を活用することで、これまで参加できなかった高齢者をサポートする。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

高齢者見守り 支援事業



目的・内容	高齢者が住み慣れたまちで、いつまでも安心・安全に暮らせる“まちづくり”を目指す。 ①見守りネットワーク 民生委員児童委員・みまもり隊・地域のボランティア等の協力を得て、ひとり暮らし・シルバー世帯の見守り活動を実施する。 ②暮らしの助け合い事業 高齢者等の身近な暮らしのお手伝いを実施する。 ③給食サービス ひとり暮らしの高齢者やシルバー世帯を対象に、友愛ボランティアの協力により、にこにこ弁当・友愛訪問・高齢者招待事業を継続して実施する。				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

4

地域の防犯・ 防災事業



目的・内容	緊急・災害における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援や未来を担う子どもたちの健全育成、地域内の防犯体制の強化を図る。 ①防犯活動 地域住民の協力を得て、子どもの通学時や高齢者の見守り、ウォーキングをしながら地域の防犯活動を推進する。 ②防災活動 要援護高齢者の増加及び地区内の若者の減少に伴い、自治会単位ではなく、広域での防災組織の整備を検討する。				
	対 象	地域内の要援護者（高齢者・障がい者）及び児童			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

5

移送サービス事業



目的・内容	<p>高齢者や障がい者の移動手段を確保する。</p> <p>①移送サービス 日常生活上の不便さを解消すると共に、病院等への送迎サービスを実施する。</p> <p>②運転ボランティアの確保 今後の利用増加に対応するため、新規運転ボランティア増加のためのPR活動を行う。</p>				
対象	地域内の要援護者（高齢者・障がい者等）及び全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

6

ふれあい福祉まつり事業



目的・内容	<p>「ふる里あわの秋まつり」の一画で、「ふれあい福祉まつり」として栗野4地区で共同開催する。</p> <p>①福祉まつり 住民が一堂に会する機会を設け、福祉啓発活動を行うと共に、地域活性化と世代間交流を図る。</p> <p>②イベント内容の充実 住民に役立つ福祉の情報を発信し、イベント内容の充実を図り、来場者の増加に努める。</p>				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 26 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 6 月 26 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 7 月 26 日	第 2 回策定小委員会

(5) 粟野地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	神山 壽子	民生委員児童委員協議会長
副会長	長谷川 昇	下の沢自治会長
副会長	岩出 勝美	民生委員
副会長	新堀 佳以	友愛ボランティアの会会長・民生委員
会計	大出 弘子	民生委員
庶務	鈴木 清樹	友愛ボランティアの会
理事	廣田 健一	釜場自治会長
理事	茂櫛 新一	新宿自治会長
理事	竹澤 直	下町自治会長
理事	横尾 光夫	なか町自治会長
理事	増山 平二	上町柏木自治会長
理事	板子 勇	叶桑沢自治会長
理事	安達 武	〇粟野四区自治会長
理事	大塚 香	中粟野自治会長
理事	大谷 順一	入粟野自治会長
理事	大塚 節子	民生委員
理事	畠山 光子	民生委員
理事	中川 文	主任児童委員
理事	福田 慎造	主任児童委員
理事	早乙女 眞仁	体育協会粟野支部長
理事	小嶋 英雄	粟野地区老人クラブ連絡会長
理事	阿部 庄二	みまもり隊隊長
理事	鰐原 一男	交通安全協会粟野支部長
監事	福田 千枝子	民生委員
監事	浅野 正子	民生委員
	葉山 廣	親交福祉会
	黒川 香代子	粟野保育園長
	中川 祐慈	清滝寺幼稚園長

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	神山 壽子	民生委員児童委員協議会長
副会長	長谷川 昇	下の沢自治会長
副会長	岩出 勝美	民生委員
副会長	新堀 佳以	友愛ボランティアの会会長・民生委員
会計	大出 弘子	民生委員
庶務	鈴木 清樹	友愛ボランティアの会
監事	福田 千枝子	民生委員
監事	浅野 正子	民生委員
理事	横尾 光夫	なか町自治会長
理事	増山 平二	上町柏木自治会長
理事	大塚 香	中栗野自治会長
理事	大谷 順一	入栗野自治会長
理事	福田 慎造	主任児童委員

15 粕尾地区

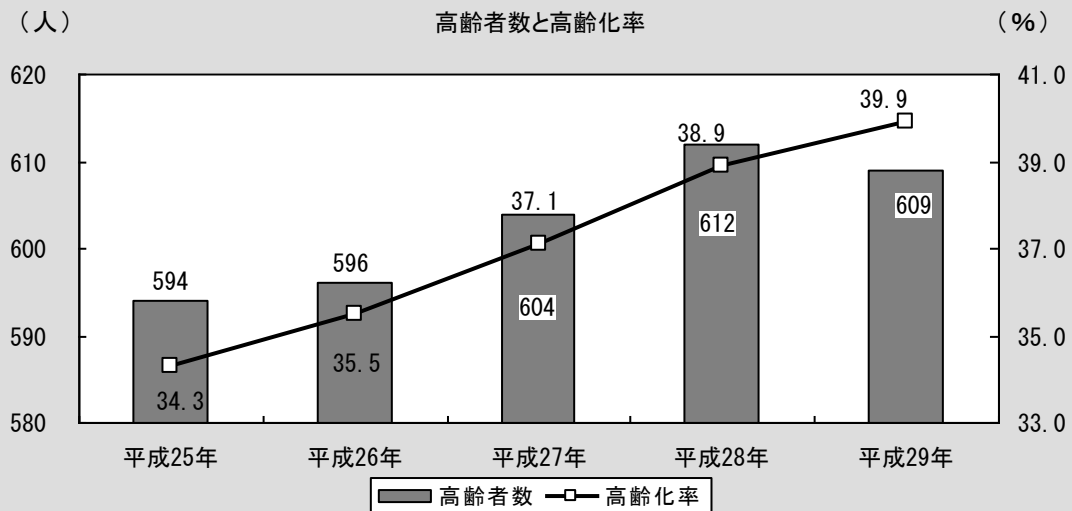
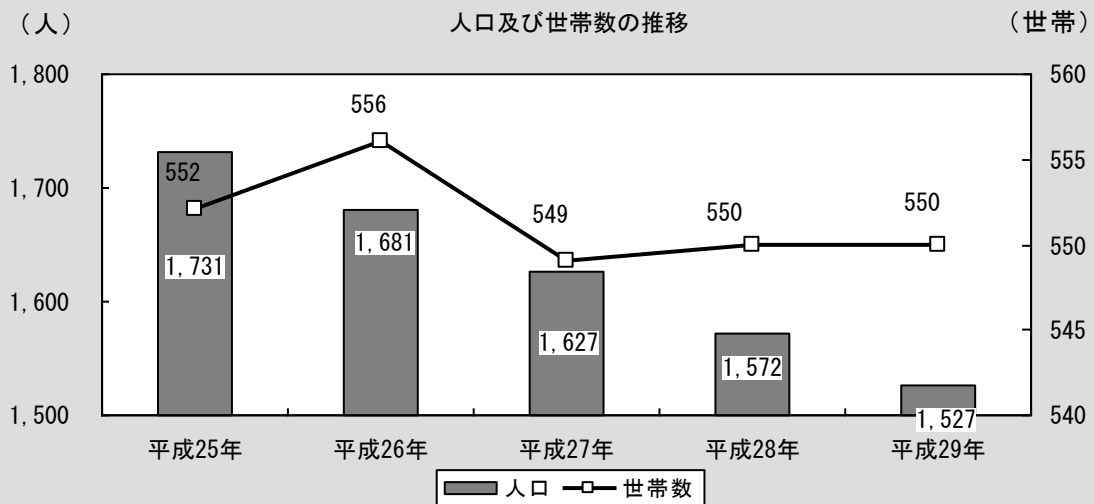
(1) 地区の概況

粕尾地区は、市の西部に位置し、日光市・栃木市や群馬県に接する自然豊かな地域で、発光路の強飯式や録事尊、井戸湿原を含む前日光県立自然公園等、多くの自然と文化遺産に恵まれている。しかしながら、著しい人口の減少と市平均を大きく上回る高齢化率（39.9%）により、地域活力の低下が懸念されている。



人口	1,527人
世帯数	550世帯
1世帯当たりの人数	2.78人
高齢者数（65歳以上）	609人
高齢化率	39.9%

（平成29年3月31日現在）



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) ふれあい福祉まつり事業

- ・4地区合同で実施しているため継続をしていく。
- ・福祉車両の展示・福祉パネルの展示等をおこなってきたが、さらに「ふれあい福祉まつり」を充実させるためのイベント内容について検討していきたい。

2) ふれあいサロン事業

- ・年1回と実施回数は少ないものの、温泉施設等に高齢者を招待し、孤独感の解消や閉じこもりの予防をしている。
- ・実施回数が少ないため、地区既存のミニサロン（大越路おたっしゃクラブ）の活用も検討したい。

3) 介護予防事業

- ・「コミュニティまつり」に高齢者を招待し、ボランティアによる健康体操を実施した。

4) 移送サービス事業

- ・年々利用者が増加しており、ボランティアは1日拘束されるため、負担が多い。運転ボランティアの確保が必要である。
- ・移送サービス事業を知らない人もいるため、PR活動をする必要がある。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
ふれあい福祉まつり事業		○			
ふれあいサロン事業		○			
介護予防事業		○			
移送サービス事業	○				

今後、粕尾地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地区福祉活動推進協議会の更なる活性化

3) 第3期計画の取り組み



ふれあい福祉まつり 事業



目的・内容	<p>「ふるさとあわの秋まつり」の一幕で、「ふれあい福祉まつり」として粟野4地区で共同開催する。</p> <p>①ふれあい福祉まつり 住民が一堂に会する機会を設け、福祉啓発活動を行うと共に、地域活性化と世代間交流を図る。</p> <p>②イベント内容の充実 住民に役立つ福祉の情報を発信し、イベント内容の充実を図り、来場者増加に努める。</p>				
	対 象 地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



高齢者サロン事業



目的・内容	<p>高齢者が生きがいを持って、気軽に集える場を目指す。</p> <p>①健康増進・生きがいづくり 介護予防や健康に関する講座を開催し、地域内の高齢者の生きがいづくりに役立てる。</p> <p>②ふれあいサロン事業 食事提供やレクリエーションを通し、高齢者のとじこもりの防止を図る。</p> <p>③ほっとサロン事業の継続的普及 気軽に集えて、おしゃべりやゲーム・運動をして楽しく過ごせるように、活動内容の充実を図り、継続的な普及をしながら、気軽に集まれるミニサロンを新規開設していく。</p> <p>④ボランティアの募集・育成 ボランティアの募集・育成を図ることで、活動の継続と安定を図る。</p>				
	対 象 地域内の高齢者				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

地域交流事業



目的・内容	住民が気軽に参加できる地域活動実施や、生きがいつくりにつながる事業等を実施することで、活気あふれる地域づくりを目指す。 ①地域交流事業 地域住民が気軽に参加できるイベント等を実施することで、地域の活性化と世代間交流の実現を図る。 ②関係機関との連携 行政や社協と連携し、事業内容の充実と継続的な実施を図る。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	新規	→	→	→	→

取り組み

4

移送サービス事業



目的・内容	高齢者や障がい者の移動手段を確保する。 ①移送サービス 日常生活上の不便さを解消すると共に、病院受診等の機会を提供する。 ②運転ボランティアの確保 今後の利用増加に対応するため、事業のPR活動を実施すると共に、運転ボランティアの募集を積極的に行う。				
	対 象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 4 月 14 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 7 月 14 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 8 月 24 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 10 月 20 日	地区福祉活動推進協議会役員会

(5) 粕尾地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	福田 輝夫	民生委員児童委員協議会会長
副会長	大塚 久行	自治会協議会副会長（下粕尾自治会長）
副会長	須藤 宏	自治会協議会副会長（中粕尾自治会長）
副会長	小杉 ヨシ子	民生委員児童委員協議会
会計	太田 孝子	民生委員児童委員協議会
理事	井戸 道廣	自治会協議会会長（上粕尾自治会長）
理事	田村 宣男	民生委員児童委員協議会
理事	倉澤 久男	民生委員児童委員協議会
理事	斎藤 育子	民生委員児童委員協議会
理事	大塚 政子	友愛訪問ボランティアの会
理事	高田 浩	松崎支部長
理事	大塚 明	大越路支部長
理事	小杉 国夫	布施谷支部長
理事	下妻 守夫	森支部長
理事	齋藤 隆雄	加戸笠丸支部長
理事	鈴木 孝雄	遠木支部長
理事	神山 義一	馬置支部長
理事	笥 正男	栃原細尾支部長
理事	佐藤 正	大八支部長
理事	木村 啓三	発光路支部長
庶務	若林 正夫	粕尾ふれあいの郷づくり推進協議会
監事	齋藤 伸之	上粕尾自治会副会長
監事	齋藤 忠	体育協会粕尾支部
	徳原 宣明	交通安全協会粕尾支部長
	倉澤 房子	母子寡婦福祉会
	齋藤 京子	食生活改善クラブ
	小瀧 与施夫	消防団第 12 分団分団長
	小杉 嘉博	消防団第 12 分団副分団長
	山本 孝子	友愛訪問ボランティアの会
	齋藤 裕昭	コミュニティ推進協議会
	大塚 智昭	粕尾小学校 P T A 会長
	小杉 明雄	鹿沼シニアライフみまもり隊員
	廣瀬 善一	鹿沼シニアライフみまもり隊員
	齋藤 忠男	鹿沼シニアライフみまもり隊員
	五味田 文子	鹿沼シニアライフみまもり隊員

役 職	氏 名	団 体 名
	神山 功子	鹿沼シニアライフみまもり隊員
	関口 みち子	鹿沼シニアライフみまもり隊員
	浅野 千ヨ	鹿沼シニアライフみまもり隊員
	木村 恵子	鹿沼シニアライフみまもり隊員

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏 名	団 体 名
会長	福田 輝夫	民生委員児童委員協議会会長
副会長	大塚 久行	自治会協議会副会長（下粕尾自治会長）
副会長	須藤 宏	自治会協議会副会長（中粕尾自治会長）
副会長	小杉 ヨシ子	民生委員児童委員協議会
会計	太田 孝子	民生委員児童委員協議会
理事	井戸 道廣	自治会協議会会長（上粕尾自治会長）
理事	田村 宣男	民生委員児童委員協議会
理事	倉澤 久男	民生委員児童委員協議会
理事	斎藤 育子	民生委員児童委員協議会
理事	大塚 政子	友愛訪問ボランティアの会
	齊藤 裕昭	コミュニティ推進協議会会長

16 永野地区

(1) 地区の概況

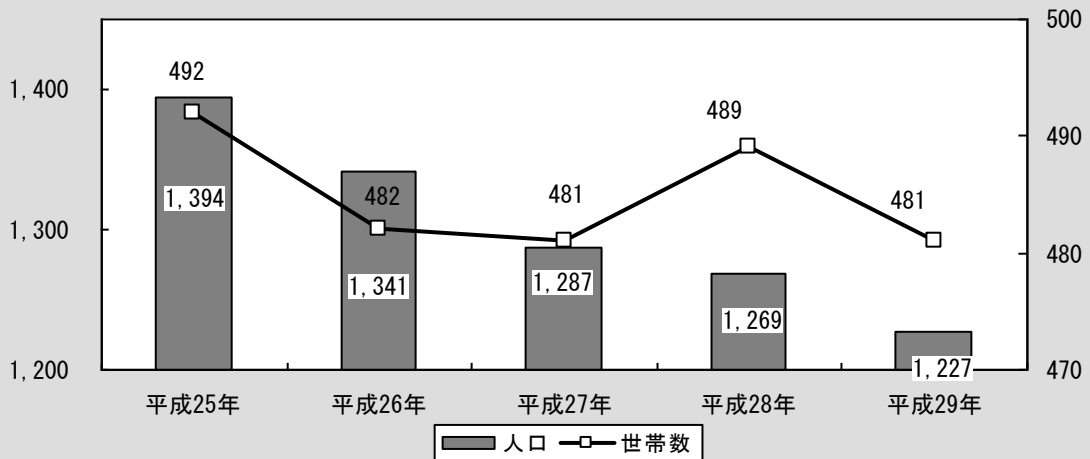
永野地区は、市の南西部に位置し、栃木市や佐野市と接する。道路事情により、通勤や通院は栃木市という住民も多い。永野川が地域を潤し、そば処として有名であり、麻の収穫量は日本一を誇る。近年は猿などによる農作物への被害が深刻化している。



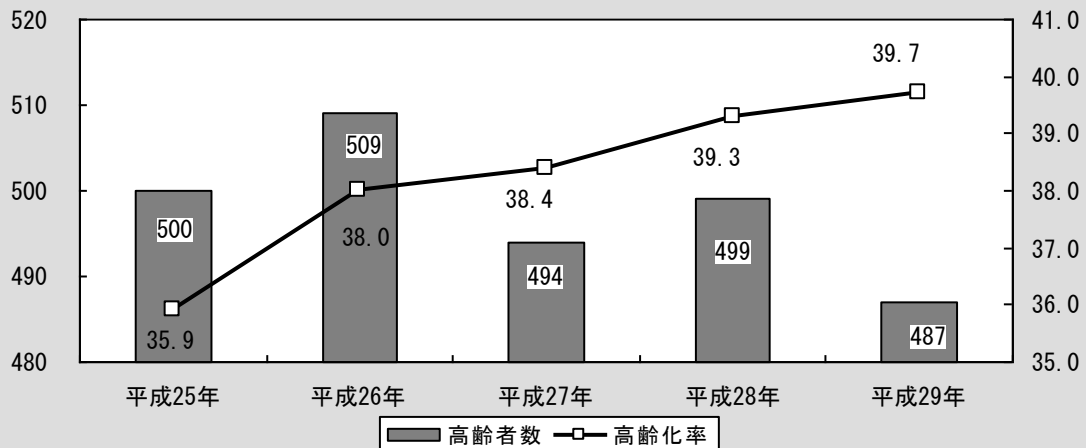
人口	1,227人
世帯数	481世帯
1世帯当たりの人数	2.55人
高齢者数（65歳以上）	487人
高齢化率	39.7%

(平成29年3月31日現在)

(人) 人口及び世帯数の推移 (世帯)



(人) 高齢者数と高齢化率 (%)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です。

(2) 第2期計画の評価

1) 移送サービス事業

- ・利用者数2人、ボランティア登録者数6人。ボランティア1人あたりの活動回数は月平均1～3回。交通不便な地域だが、利用はそれほど多くはない。

2) 高齢者サロン事業

- ・毎月2か所で開催している。毎回20人ほどが参加しているが、参加者もボランティアも新規のメンバーが増えない状況である。今後、参加者をいかに幅広く集めるか、またボランティアも若いメンバーをいかに増やすかが課題である。

3) ふれあい福祉まつり事業

- ・ふる里あわの秋まつりの一環として、旧栗野町の4地区で合同開催している。

4) 災害時要援護者対応事業

- ・永年にわたり災害がない地域のため、住民の関心はそれほど高くはない。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
移送サービス事業	○				
高齢者サロン事業	○				
ふれあい福祉まつり事業	○				
災害時要援護者対応事業	○				

今後、永野地区で取り組めたら良い事業について

- ①声かけや安否確認などのみまもり活動
- ②サロンなどの居場所づくり
- ③電球の交換やフタの開け閉めなど、ちょっとした困りごとへの対応
- ④草むしりや大掃除など、年数回の住民同士のお手伝い
- ⑤災害時のためのボランティアの養成

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①地区福祉活動推進協議会の更なる活性化

(3) 第3期計画の取り組み



移送サービス事業



目的・内容	高齢者や障がい者の移動手段を確保する。 ①移送サービス ボランティアの協力により、病院受診等の機会を提供する。 ②運転ボランティアの確保 今後の利用者数の増加に対応するため、継続して運転ボランティアの募集を行うと共に、登録したボランティアには活動の機会を増やす。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→



高齢者サロン事業



目的・内容	高齢者の外出機会の確保と、気軽に楽しめる場を提供することにより、地域に交流と介護予防の場を設ける。 ①高齢者サロンの実施 サロンを定期的で開催し、高齢者に気軽に集える場を提供し、おしゃべりやレクリエーションなどを楽しんでいただく。 ②ボランティアの募集 活動の継続と安定を図るためにも、ボランティア活動への参加の呼びかけを継続する。				
	対象				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

3

ふれあい福祉まつり 事業



目的・内容	<p>「ふる里あわの秋まつり」の会場の一画で、「ふれあい福祉まつり」として栗野4地区で共同開催する。</p> <p>① ふれあい福祉まつり 住民が一堂に会する機会を設け、福祉啓発活動を行うと共に、地域活性化と世代間交流を図る。</p> <p>② イベント内容の充実 住民に役立つ福祉の情報を発信し、イベント内容の充実を図り、来場者の増加に努める。</p>				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

4

災害時要援護者 対応事業



目的・内容	<p>災害時における避難行動要援護者（高齢者・障がい者等）への対応など、地域内の防災体制の強化を図る。</p> <p>① 地域内ネットワークの充実 組織化された自治会等の活動のもと、緊急・災害時に即応できる体制を整える。</p> <p>② 関係団体との連携強化 関係団体との情報交換を密に行い、情報共有を図ることで連携を強化する。</p> <p>③ 啓発活動 災害に関する啓発を行うことで、防災に関する関心を高める。</p>				
対象	地域内の要援護者（高齢者・障がい者）、全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 15 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 7 月 12 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 9 月 5 日	第 2 回策定小委員会

(5) 永野地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	毛塚 欣伸	自治会協議会会長
副会長	荒井 勝美	自治会協議会副会長
副会長	高橋 敏子	民生委員児童委員協議会会長
理事	野邊 光章	下永野自治会倉本支部長
理事	伴 利通	下永野自治会山際支部長
理事	大川 光由	下永野自治会下元支部長
理事	大森 由久	下永野自治会久分支部長
理事	池澤 忠幸	上永野自治会沢坪支部長
理事	酒巻 昇	上永野自治会中坪支部長
理事	茅原 清一	上永野自治会山口支部長
理事	戸叶 正一	上永野自治会与洲支部長
理事	齊藤 幸男	鹿沼市体育協会永野支部支部長
理事	清水 トモ子	民生委員児童委員協議会会計（下永野民生委員児童委員）
庶務	松澤 康子	民生委員児童委員協議会監事（上永野民生委員児童委員）
会計	大森 光枝	民生委員児童委員協議会副会長（主任児童委員）
監事	大森 尊治	永野地区老人クラブ連絡協議会長
監事	永澤 忠彦	鹿沼市交通安全協会永野支部長
代議員	荒井 とき子	民生委員児童委員協議会監事
代議員	毛束 民子	民生委員児童委員協議会庶務（主任児童委員）
代議員	荻原 哲	鹿沼市消防団第 13 分団長
代議員	大森 文江	友愛訪問ボランティアの会
代議員	大川 喜代子	友愛訪問ボランティアの会
代議員	小太刀 旬	鹿沼市体育協会永野支部副支部長
代議員	岩田 典明	鹿沼市体育協会永野支部副支部長
代議員	小野 力也	永野小学校 PTA 代表
代議員	大塚 敏男	永野地区青少年育成市民会議会長

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役職	氏名	団体名
会長	毛塚 欣伸	自治会協議会会長（下永野自治会長）
副会長	荒井 勝美	自治会協議会副会長（上永野自治会長）
副会長	高橋 敏子	民生委員児童委員協議会会長（下永野民生委員児童委員）
理事	茅原 清一	自治会協議会会計（上永野自治会山口支部長）
理事	清水 トモ子	民生委員児童委員協議会会計（下永野民生委員児童委員）
庶務	松澤 康子	民生委員児童委員協議会監事（上永野民生委員児童委員）
会計	大森 光枝	民生委員児童委員協議会副会長（主任児童委員）
広報委員	荒井 とき子	民生委員児童委員協議会監事（上永野民生委員児童委員）
代議員	毛束 民子	民生委員児童委員協議会庶務（主任児童委員）
代議員	大森 文江	友愛訪問ボランティアの会

17 清洲地区

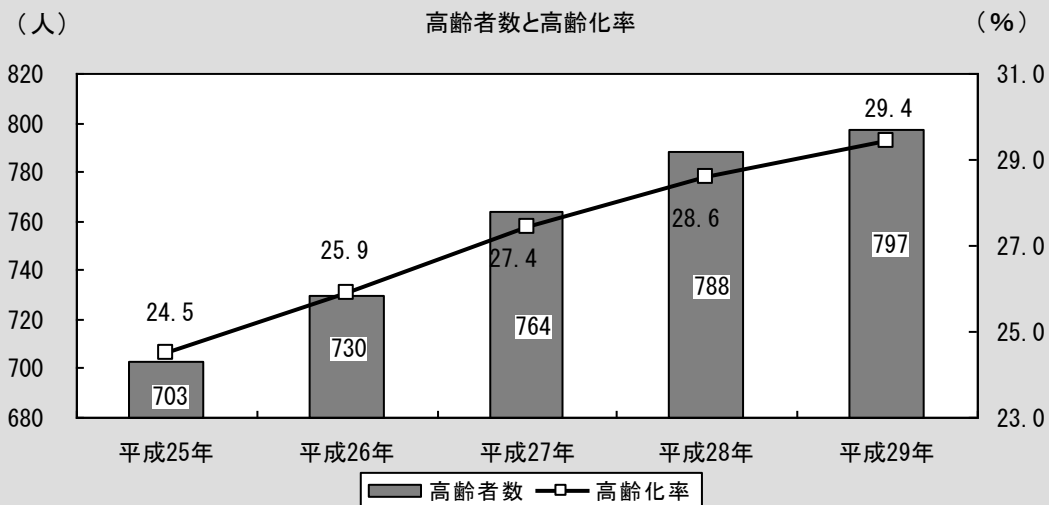
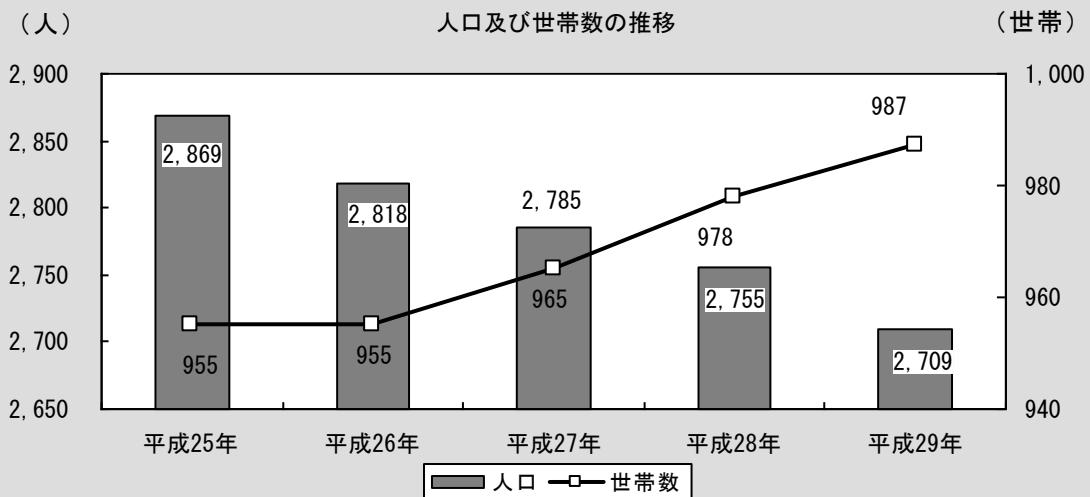
(1) 地区の概況

清洲地区は、思川が地域を潤す自然環境と文化遺産に恵まれた地域である。自然度の高さが保たれているため、多くの動物が見られ、特にハヤブサの生息が確認されている。人口及び世帯数については減少傾向にあり、核家族化が進んでいるので、新たな地域のネットワークを構築することが重要である。



人口	2,709人
世帯数	987世帯
1世帯当たりの人数	2.74人
高齢者数（65歳以上）	797人
高齢化率	29.4%

(平成29年3月31日現在)



※上記の表及びグラフのデータについては、市保健福祉部高齢福祉課「鹿沼市町別高齢者率一覧表」より引用しています。基準日は、各年とも3月31日です

(2) 第2期計画の評価

1) ほっとサロン事業・三世代交流事業

- ・独居高齢者を対象に、年1回コミセンでサロンを開催。近年は、隣接した保育園との交流を兼ねた内容だった。地域包括支援センターからは回数が増えると効果的であるとのアドバイスをもらっている。

2) ふれあい福祉まつり事業

- ・旧栗野4地区合同で、ふるさとあわの秋まつり開催時に実施している。

3) 緊急時要援護者対応事業

- ・関東東北豪雨水害では、床下浸水が数件あり、コミセンに避難した世帯もあった。災害は身近に起こるもので、緊急時の備えは大切だと感じた。
- ・避難訓練を実施している。今後は、全住民や福祉施設を対象とした避難訓練や、中学生を対象としたAED講習、小学生を対象とした消火訓練等を検討している。

4) 移送サービス事業

- ・施設入所や死亡により利用者が減少し、平成28年度は利用実績がなかった。
- ・近隣の通院であれば、デマンドバスの利用で足りている。

5) 老人クラブ活動活性化事業

- ・北半田には老人クラブが無いので、再度組織化をしたいと検討している。組織化されていないが、グランドゴルフや輪投げ等の行事の時には参加できている。

6) 各種ボランティア活動の募集

- ・新規ボランティアの確保が難しい。
- ・若い世代にも何か得意分野を持った人材がいると思うが、どこにどんな人が住んでいるのか把握するのが難しい。
- ・声掛けによりボランティアの参加率がアップした。声をかけられていなかったので参加がなかった。

【進捗状況アンケート結果】

	計画どおり	ほぼ計画どおり	若干遅れている	遅れている	未実施
ほっとサロン事業・三世代交流事業		○			
ふれあい福祉まつり事業		○			
災害時要援護者対応事業		○			
移送サービス事業		○			
老人クラブ活動活性化事業		○			
各種ボランティアの募集			○		

今後、清洲地区で取り組めたら良い事業について

- ①声掛けや安否確認などのみまもり活動
- ②フードバンクへの食糧提供などへの協力

地域福祉活動計画を充実させていくために重要と思われること

- ①鹿沼市社会福祉協議会の支援
- ②地域の新たな担い手（ボランティア）の発掘

(3) 第3期計画の取り組み



ほっとサロン事業
三世代交流事業



目的・内容	高齢者福祉の推進を積極的に図り、生きがいの持てる地域づくりを目指すと共に、世代間交流の実施により、地域の活性化を図る。 ①サロンの普及拡大 高齢者が気軽に集えて、おしゃべりやゲーム等で楽しく過ごしてもらい、サロンの普及拡大を目指すと共に、高齢者の孤立化を防止する。 ②三世代間交流の実施 内容の更なる充実を図り、子供から高齢者まで参加できるイベントを実施することで、参加者の拡大を図り、世代間の交流につなげる。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→



ふれあい福祉まつり
事業



目的・内容	「ふるさとあわの秋まつり」の一幕で、「ふれあい福祉まつり」として粟野4地区で共同開催する。 ①ふれあい福祉まつり 住民が一堂に会する機会を設け、福祉啓発活動を行うと共に、地域活性化と世代間交流を図る。 ②イベント内容の充実 住民に役立つ福祉の情報を発信し、イベント内容の充実を図り、来場者の増加に努める。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

3

災害時対応事業



目的・内容	<p>緊急・災害時における要援護者（高齢者・障がい者等）の避難支援に取り組むと共に、地域の防災力をアップさせて災害時に対応する。</p> <p>①情報交換会の実施 要援護者への対応を考慮し、各関係機関と連携して情報交換会を実施すると共に、個人情報取り扱いについて注意をしながら連携強化も図る。</p> <p>②体制等の整備・強化 連携強化を図ることで、災害時対応の体制の再確認を行う。また、防災訓練等を行うことで、体制等の整備・強化を図る。</p> <p>③研修・講習会の実施 全住民を対象とした研修会や講習会を実施することで、災害に対する意識を高め、地域の防災力をアップさせる。</p>				
対象	地域内の全住民				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	拡大	→	→	→	→

取り組み

4

移送サービス事業



目的・内容	<p>高齢者や障がい者の移動手段を確保する。</p> <p>①移送サービス 日常生活上の不便さを解消すると共に、病院受診等の機会を提供する。</p> <p>②事業内容のPR 事業内容を積極的にPRすることで、新たな利用者の確保を目指す。</p> <p>③社協ボランティア号活用の検討 イベントやサロン開催時における社協ボランティア号活用を検討する。</p>				
対象	地域内の高齢者・障がい者等				
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	継続	→	→	→	→

取り組み

5

高齢者活動活性化事業



目的・内容	高齢者の生きがいがづくりと地域活動への参加等を促進させる。 ① 老人クラブ活動の推進 老人クラブの着実な活動を支援すると共に、加入促進のために活動のPRも行う。 ② 活動内容の見直し 気軽に参加できる活動を目指し、活動内容等を見直す。				
	対 象	地域内の高齢者			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

取り組み

6

各種ボランティアの募集・育成事業



目的・内容	各種事業の発展・継続と円滑な推進を図ると共に、地域でボランティアを育成する。 ① ボランティア活動推進 ボランティア活動に、より多くの地域住民の参加を促すことで、助け合いのある地域を目指す。積極的なPRを行うと共に、募集・育成に取り組む。 ② 介護施設や学校等との連携 地域内にある介護施設や学校等と連携し、交流を図りながら、各種事業を円滑に推進させる。子供たちが企画・立案に関わるなど子供たちの意見を積極的に取り入れ地域で活動することで、地域の人材育成につなげる。				
	対 象	地域内の全住民			
年次計画	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
	発展・継続	→	→	→	→

(4) 地域福祉活動計画策定経過

平成 29 年 5 月 9 日	地区福祉活動推進協議会総会
平成 29 年 6 月 27 日	第 1 回策定小委員会
平成 29 年 8 月 22 日	第 2 回策定小委員会
平成 29 年 11 月 6 日	地区福祉活動推進協議会役員会

(5) 清洲地区福祉活動推進協議会名簿

役 職	氏 名	団 体 名
会長	小保方 敏雄	自治会協議会副会長（北半田自治会長）
副会長	金子 友昭	自治会協議会会長（深程自治会長）
副会長	丸山 信昭	自治会協議会会計（久野自治会長）
副会長	青木 美智子	民生委員児童委員協議会会長（主任児童委員）
庶務	青木 芳夫	自治会協議会・コミュニティ推進協議会会長
会計	篠崎 弘	民生委員児童委員協議会
監事	滝澤 幸一	自治会協議会
監事	茂呂 正子	民生委員児童委員協議会
理事	山中 和男	自治会協議会
理事	遠藤 輝夫	自治会協議会・民生委員児童委員協議会
理事	橋本 達也	自治会協議会
理事	和久井 一夫	自治会協議会
理事	塩澤 立也	自治会協議会・体育協会
理事	宇塚 浩一	自治会協議会
理事	中荒井 俊雄	自治会協議会・コミュニティ推進協議会副会長
理事	小嶋 隆	自治会協議会・青少年育成市民会議会長
理事	鈴木 章	自治会協議会
理事	寺内 市男	自治会協議会
理事	折笠 博	自治会協議会
理事	臼井 幸子	民生委員児童委員協議会
理事	金田 カツ子	民生委員児童委員協議会
理事	神山 紀江	みまもり隊隊長・友愛ボランティアの会代表
理事	金田 太一	老人クラブ代表
理事	宇塚 正造	コミュニティ推進協議会副会長

(6) 策定小委員会名簿

地区福祉活動推進協議会での役割	氏名	団体名
会長	小保方 敏雄	自治会協議会副会長（北半田自治会長）
副会長	金子 友昭	自治会協議会会長（深程自治会長）
副会長	丸山 信昭	自治会協議会会計（久野自治会長）
副会長	青木 美智子	民生委員児童委員協議会会長（主任児童委員）
庶務	青木 芳夫	自治会協議会・コミュニティ推進協議会会長
会計	篠崎 弘	民生委員児童委員協議会
監事	茂呂 正子	民生委員児童委員協議会
理事	遠藤 輝夫	自治会協議会・民生委員児童委員協議会
理事	金田 カツ子	民生委員児童委員協議会
理事	臼井 幸子	民生委員児童委員協議会

資料編

1 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業補助金交付要領等

鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業補助金交付要領

(趣旨)

第1条 この要領は、鹿沼市地域福祉活動推進事業補助金交付要領に基づく補助金の交付等について定めるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(目的)

第2条 地域において住民や事業所等の団体が連携し、地域福祉の課題の解決や福祉サービスの適切な利用、社会福祉を目的とする事業の健全な発達及び地域福祉活動への住民参加の促進を図る。

(対象事業)

第3条 補助金の対象事業は、地域住民が参加して策定した地域福祉活動計画に基づいた事業（以下「事業」という。）とする。

(補助金)

第4条 鹿沼市社会福祉協議会は、対象事業を支援するために、地域福祉活動推進事業補助金（以下「補助金」という。）を交付する。

(対象団体)

第5条 事業の対象となる団体は、各地区の福祉活動推進協議会、またはコミュニティ推進協議会とする。

(支援内容)

第6条 鹿沼市社会福祉協議会長（以下「会長」という。）は、支援すべき地域福祉活動であると認められる事業実施団体に対し、予算の範囲内で、1地区について50万円を上限に補助する。

(交付申請)

第7条 補助を受けようとする団体は、次に掲げる書類を会長に提出しなければならない。

- (1) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業補助申請書（様式第1号）
- (2) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業計画書（様式第2号）
- (3) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業収支予算書（様式第3号）
- (4) 地域福祉活動計画書
- (5) 団体の規約及び名簿
- (6) その他会長が必要と認める書類

(交付の決定等)

第8条 会長は、前項の申請があったときは、当該事業の主旨、目的、効果等について精査し、対象事業としての承認、再提出、または却下の決定をする。

2 会長は、補助対象事業として承認した事業について、交付決定の上、補助金を交付する。

(報告)

第9条 補助事業を実施した団体は、事業完了後、すみやかに次に掲げる書類を会長に提出しなければならない。

- (1) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業実績報告書（様式第4号）
- (2) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業収支決算書（様式第5号）
- (3) その他事業に関する資料

(審査)

第10条 会長は提出された実績報告書等の書類について、補助対象事業として適切であったかどうか審査する。

2 前項の審査の結果、補助金の交付に該当しないと認められるときは、各地区の福祉活動推進協議会、またはコミュニティ推進協議会に対し、補助金の返還を求めることができる。

(その他)

第11条 この要領に定めるもののほか、必要な事項は会長が別に定める。

附則

この要領は、平成30年4月1日から施行する。

様式第1号

鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業補助申請書

平成 年 月 日

鹿沼市社会福祉協議会
会長 池澤光男様

所在地 _____

団体名 _____

代表者名 _____ 印

連絡先 _____

平成 年度鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業の補助を受けたいので、関係書類を添えて下記のとおり申請します。

記

1 事業名 _____

2 事業費 金 _____ 円

3 関係書類

- (1) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業計画書
- (2) 鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業収支予算書
- (3) 地域福祉活動計画書
- (4) 団体の規約または会則
- (5) 団体の名簿
- (6) その他関係書類

様式第2号

鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業計画書

平成 年 月 日

鹿沼市社会福祉協議会
会長 池澤光男様

所在地 _____

団体名 _____

代表者名 _____ 印

連絡先 _____

平成 年度鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業の認定を受けたいので、事業計画を下記のとおり提出いたします。

1 事業名称	
2 目的	
3 事業内容	
4 期待される 効果・成果	
5 事業の特徴	

※別途企画書、スケジュール表等があれば添付してください。

鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業

「 収 支 予 算 書 」

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

◎収入の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	説 明
1		
2		
3		
合 計		

◎支出の部

(単位：円)

科 目	予 算 額	説 明
1		
2		
3		
4		
合 計		

様式第4号

鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業実績報告書

平成 年 月 日

鹿沼市社会福祉協議会
会長 池澤光男様

団体名 _____

代表者名 _____ 印

平成 年度鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業の実績について、下記のとおり報告します。

1 事業名称	
2 事業結果	
3 事業に対する 自己評価	

※別途報告関係書類等があれば添付してください。

鹿沼市社会福祉協議会地域福祉活動推進事業

「 収 支 決 算 書 」

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印 _____

◎収入の部

(単位： 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	説 明
1.				
2.				
3.				
合 計				

◎支出の部

(単位： 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減額	説 明
1.				
2.				
3.				
合 計				

◎差引残金

円

2 鹿沼市社会福祉協議会 17 地区担当者一覧

地区名	担当者名①	担当者名②	担当者名③
北部地区	鈴木久美子	塚田寛乃	石塚菜穂子
中央地区	大山修治	大貫雄一	
東部地区	高木美穂	福田史織	石塚菜穂子
菊沢地区	齋藤裕嗣	倉野和樹	
東大芦地区	福田充広	渡辺靖崇	
北押原地区	鈴木久美子	渡辺靖崇	
板荷地区	齋藤裕嗣	高木美穂	
西大芦地区	川田晴美	福田充広	
加蘇地区	大貫雄一	倉野和樹	
北犬飼地区	川田晴美	高木美穂	
南摩地区	神山大	大貫雄一	
南押原地区	菊池浩史	福田史織	
東部台地区	菊池浩史	福田史織	
粟野地区	齋藤裕嗣	渡辺靖崇	
粕尾地区	川田晴美	柴田雄太	
永野地区	菊池浩史	倉野和樹	
清洲地区	大山修治	鈴木久美子	

	鹿沼市 第三期地域福祉活動計画
発行	平成 30 年 3 月
企画・編集	社会福祉法人鹿沼市社会福祉協議会 〒322-0043 栃木県鹿沼市万町 931-1
電話番号	0289-65-5191
F A X 番号	0289-62-9361